

北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会（新潟県部会）

日時：平成28年6月20日（月）13:00～14:30

場所：北陸地方整備局 4階 第1合同会議室

<議事次第>

1. 開会
2. 新潟県部会長挨拶
3. 出席者の紹介
4. 議題
 - 1) 平成27年度の各種取り組みの結果について
 - 2) 平成28年度の活動メニューの調整について
 - (1) 建設界担い手イベントカレンダー
 - 3) 各機関の取り組み予定について
 - 4) その他
5. 閉会

<配付資料>

- ・ 議事次第
- ・ 配席図
- ・ 出席者名簿
- ・ (資料1) 北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会 設立趣旨・規約
- ・ (資料2) 平成27年度建設界の担い手・確保に関する新潟県内の取り組み数について
- ・ (資料3) 平成28年度のインターシップ^oに関する学生受け入れ情報等について
- ・ (資料4) 平成28年度建設界担い手イベントカレンダー・取り組み予定一覧表
- ・ (資料5) 各機関の取り組み事例
- ・ (資料6) 協議会の進め方（新潟県部会）（案）
- ・ (資料7) 北陸 i-Construction 通信

北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会(新潟県部会) 出席者名簿

◎部会長

	所 属	役 職	氏 名	出欠	代理出席者	
1	(一社)日本建設業連合会	北陸支部 総務委員	宇野 正修	代理	事務局長 本間 千代吉	
2	(一社)新潟県建設業協会	常務理事	岡村 幸弘	○		
3	(一社)建設コンサルタンツ協会	北陸支部 副支部長	中俣 孝	○		
4	(一社)新潟県測量設計業協会	副会長	荒井 隆二	○		
5	新潟大学	工学部 建設学科 教授	佐伯 竜彦	欠席		
6	長岡技術科学大学	環境社会基盤工学専攻 教授	池田 隆明	○		
7	長岡工業高等専門学校	環境都市工学科 教授	宮腰 和弘	○		
8	新潟工業高校	校長	小杉 克彦	代理	副校長 中川 誠一	
9	新発田南高校	校長	中島 俊哉	○		
10	新潟労働局	職業安定課長	平田 保	○		
11	北陸地方整備局	地方事業評価管理官	高島 和夫	代理	技術調整管理官 倉重 毅	◎
12	建政部	建設産業調整官	吉川 文義	○		
13	信濃川河川事務所	事務所長	日下部 隆昭	代理	副所長 内藤 和久	
14	新潟国道事務所	事務所長	大江 真弘	代理	事業対策官 猿子 求	
15	北陸技術事務所	事務所長	佐藤 正之	○		
16	新潟県	土木部副部長(監理課長)	関原 貢	○		随行
17	新潟県教育委員会	高等学校教育課長	飯田 昭男	代理	指導主事 藤澤 満	
18	新潟県教育委員会	義務教育課長	大野 雅人	欠席		
19	新潟市	技術管理課長	笠巻 孝道	○		
20	(一社)新潟県地質調査業協会	理事	村尾 治祐	○		
21	(一社)日本道路建設業協会北陸支部	幹事長	海野 正美	○		

新発田南高校 校長
中島 俊哉

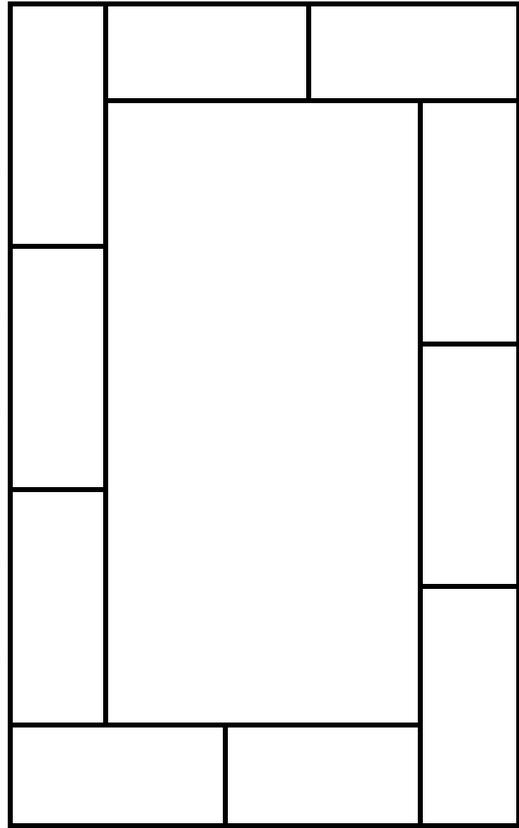
新潟工業高校 副校長
中川 誠一

長岡工業高等専門学校
環境都市工学科 教授
宮腰 和弘

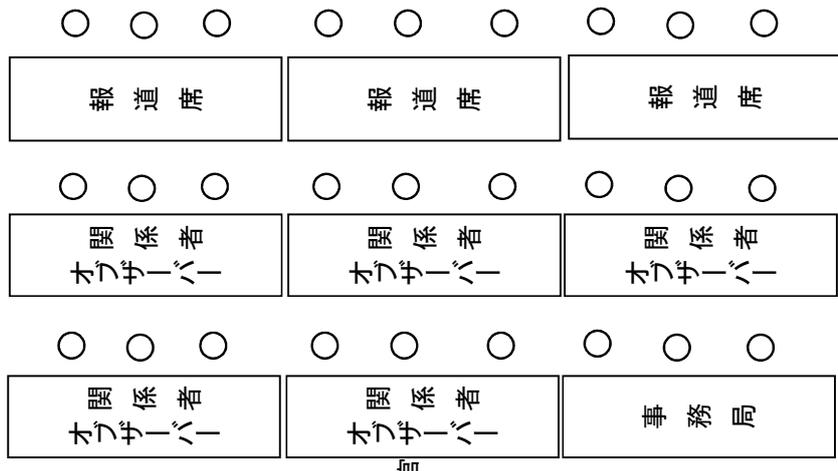
長岡技術科学大学
環境社会基盤工学専攻 教授
池田 隆明

新潟県教育委員会
高等学校教育課 指導主事
藤澤 満

北陸地方整備局 建設部
建設産業調整官
吉川 文義
北陸地方整備局
技術調整管理官
倉重 毅
新潟労働局
職業安定課長
平田 保
新潟県土木部副部長
(監理課長)
関原 貢



○ 新潟市技術管理課長
笠巻 孝道
○ (一社)日本建設業連合会
北陸支部 事務局長
本間 千代吉
○ (一社)新潟県建設業協会
常務理事
岡村 幸弘
○ (一社)建設(コ)サルタニツ協会
北陸支部 副支部長
中俣 孝
○ (一社)新潟県測量設計業協会
副会長
荒井 隆二
○ (一社)新潟県地質調査業協会
理事
村尾 治祐
○ 北陸支部 幹事長
海野 正美
○ (一社)日本道路建設業協会



○ 信濃川河川事務所 副所長
内藤 和久
○ 新潟国道事務所 事業対策官
猿子 求
○ 北陸技術事務所 事務所長
佐藤 正之

北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会

設立趣旨

北陸地方における建設界では、少子高齢化の進展や労働人口の減少に加え、近年の建設投資の大幅な減少による受注競争の激化等により、建設業者数や建設業就業者数も減少しており、とりわけ離職者の増加や若年入職者の減少等の厳しい状況に直面している。また、これらの状況については、これまで建設界の持つ魅力を建設界全体として発信することや建設界に対する好印象を醸成することが、うまくできてこなかったことも主因の一つと考えられる。

このような状況下においては、将来にわたる社会資本の整備・維持管理及びその品質確保や、冬期の除雪を含む災害時の対応等を通じた地域の維持等に支障が生じることが懸念されることから、地域における担い手の確保・育成は極めて重要な課題となっており、平成26年には、「公共工事の品質確保の促進に関する法律」、「建設業法」「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」のいわゆる担い手三法が改正され、建設工事の担い手の育成と確保について、建設業者団体や国等の責務が明確化されたところである。

上記をふまえ、北陸地方における建設界の担い手をめぐる現状や課題に関する認識を共有し、建設界の担い手不足に対し、建設関係団体、教育機関、関係行政機関等が一体となって担い手の確保・育成の取組みを推進することを目的としたプラットフォームとして、「北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会」を設置する。

「北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会」規約

(設置)

第1条 北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

(目的)

第2条 協議会は、北陸地方における建設界の担い手をめぐる現状や課題に関する認識を共有し、建設界の担い手不足に対し、建設関係団体、教育機関、関係行政機関等が一体となって担い手の確保・育成の取組みを推進することを目的とする。

(構成員)

第3条 協議会の構成員は、別紙1のとおりとする。

(座長)

第4条 協議会の座長は、北陸地方整備局長をもってあたる。

2 座長に事故があるときは、構成員のうちから座長が指名する者が、その職務を代理する。

(会議)

第5条 協議会の会議は、座長が招集する。

2 構成員は、あらかじめ指名した者を代理として会議に出席させることができる。

3 座長が必要と認めるときは、構成員以外の者に対し、協議会に出席してその意見を述べ又は説明を行うことを求めることができる。

(部会)

第6条 地域における特定の課題等について検討を行うため、新潟、富山、石川の各県に部会を置く。

2 各部会は、別紙2に掲げる会員をもって構成する。

3 各部会の部会長は、別紙2のとおりとする。

4 部会長が必要と認めるときは、会員以外の者に対し、部会に出席してその意見を述べ又は説明を行うことを求めることができる。

(事務局)

第7条 会議および部会の庶務は、北陸地方整備局企画部及び建政部が関係機関の協力を得て処理する。

(雑則)

第8条 この規約に定めるもののほか、会議の運営に関する事項その他必要な事項は、座長が定める。

附 則 この規約は、平成26年10月3日から施行する。

附 則 この規約は、平成27年3月17日から施行する。

附 則 この規約は、平成28年3月24日から施行する。

北陸建設会の担い手確保・育成推進協議会 構成員

	所 属	役 職
1	(一社) 日本建設業連合会	北陸支部長
2	(一社) 新潟県建設業協会	会長
3	(一社) 富山県建設業協会	会長
4	(一社) 石川県建設業協会	会長
5	(一社) 建設コンサルタント協会	北陸支部長
6	(一社) 新潟県測量設計業協会	会長
7	(一社) 富山県測量設計業協会	会長
8	(一社) 石川県測量設計業協会	会長
9	新潟大学 工学部 建設学科	
10	長岡技術科学大学 環境・建設系	
11	富山大学 工学部長	
12	富山県立大学 工学部 環境工学科	
13	金沢大学 理工研究域 環境デザイン学類	
14	金沢工業大学 環境・建築学部 環境土木工学科	
15	長岡工業高等専門学校 環境都市工学科	
16	石川工業高等専門学校 環境都市工学科	
17	新潟工業高校	校長
18	新発田南高校	校長
19	富山工業高校	校長
20	小松工業高校	校長
21	金沢市立工業高校	校長
22	新潟労働局	職業安定部長
23	富山労働局	職業安定部長
24	石川労働局	職業安定部長
25	◎北陸地方整備局	局長
26	北陸地方整備局	企画部長
27	北陸地方整備局	建政部長
28	○北陸地方整備局	地方事業評価管理官
29	信濃川河川事務所	事務所長
30	新潟国道事務所	事務所長
31	○富山河川国道事務所	事務所長
32	○金沢河川国道事務所	事務所長
33	北陸技術事務所	事務所長
34	新潟県	土木部長
35	新潟県教育委員会	高等学校教育課長
36	新潟県教育委員会	義務教育課長
37	富山県	土木部長
38	富山県教育委員会	県立学校課長
39	石川県	土木部長
40	石川県教育委員会	学校指導課長
41	新潟市	土木部長
42	北陸地質調査業協会	理事長
43	(一社) 日本道路建設業協会北陸支部	支部長

◎ : 座長

○ : 部会長

新潟県部会会員名簿

	所 属	役 職
1	(一社) 日本建設業連合会	北陸支部 総務委員
2	(一社) 新潟県建設業協会	常務理事
3	(一社) 建設コンサルタント協会	北陸支部 副支部長
4	(一社) 新潟県測量設計業協会	副会長
5	新潟大学 工学部 建設学科	
6	長岡技術科学大 学環境・建設系	
7	長岡工業高等専門学校 環境都市 工学科	
8	新潟工業高校	校長
9	新発田南高校	校長
10	新潟労働局	職業安定課長
11	○北陸地方整備局	地方事業評価管理官
12	建政部	建設産業調整官
13	信濃川河川事務所	事務所長
14	新潟国道事務所	事務所長
15	北陸技術事務所	事務所長
16	新潟県	土木部副部長(監理課長)
17	新潟県教育委員会	高等学校教育課長
18	新潟県教育委員会	義務教育課長
19	新潟市	技術管理課長
20	(一社) 新潟県地質調査業協会	理事
21	(一社) 日本道路建設業協会北陸支部	幹事長

○：部会長

富山県部会会員名簿

	所 属	役 職
1	(一社) 日本建設業連合会	北陸支部 広報委員
2	(一社) 富山県建設業協会	常務理事
3	(一社) 建設コンサルタント協会	北陸支部 副支部長
4	(一社) 富山県測量設計業協会	副会長
5	富山大学 工学部長	
6	富山県立大学 工学部 環境工学科	
7	富山工業高校	校長
8	富山工業高校	土木工学科長
9	桜井高校	校長
10	桜井高校	土木科学科長
11	高岡工芸高校	土木環境科主任
12	富山労働局	職業対策課長
13	南砺福野高校	農業環境科長
14	建政部	計画・建設産業課長
15	○富山河川国道事務所	事務所長
16	富山県	土木部参事・建設技術企画課長
17	富山県教育委員会	県立学校課長
18	富山県地質調査業協会	会長
19	(一社) 日本道路建設業協会	北陸支部 幹事
20		

○：部会長

石川県部会会員名簿

	所 属	役 職
1	(一社) 日本建設業連合会	北陸支部 総務委員
2	(一社) 石川県建設業協会	常務理事
3	(一社) 建設コンサルタント協会	北陸支部 副支部長
4	(一社) 石川県測量設計業協会	専務理事
5	金沢大学 理工研究域 環境デザイン学類	
6	金沢工業大学 環境・建築学部 環境土木工学科	
7	石川工業高等専門学校 環境都市工学科	
8	小松工業高校	校長
9	金沢市立工業高校	校長
10	石川労働局	職業対策課 事業所給付監 査官
11	建政部	計画・建設産業課 課長
12	○金沢河川国道事務所	事務所長
13	石川県	土木部 監理課長
14	石川県教育委員会	学校指導課 課長補佐
15	石川県教育委員会	学校指導課 指導主事
16	(一社) 石川県地質調査業協会	会長
17	(一社) 日本道路建設業協会北陸支部	幹事
18	羽咋工業高等学校	校長
19	翠星高等学校	校長

○：部会長

「北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会」 新潟県部会 実施要領

本運営要領は、「北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会」規約 第6条で定める新潟県部会（以下「部会」という。）において、会員間で円滑に調整・連携し、活動を進めるための事項を定めるものである。

（構成員）

第1条 部会の会員は、別紙1のとおりとする。

（部会長）

第2条 部会の部会長は、北陸地方整備局地方事業評価管理官をもってあたる。

2 部会長に事故があるときは、構成員のうちから部会長が指名する者が、その職務を代理する。

（会議）

第3条 部会は、部会長が招集する。

2 会員は、あらかじめ指名した者を代理として会議に出席させることができる。

3 部会長が必要と認めるときは、会員以外の者に対し、部会に出席してその意見を述べ又は説明を行うことを求めることができる。

（建設系の大学・高専、高等学校を対象とした現場見学会等相談窓口の開設）

第4条 建設系の大学・高専、高等学校（別紙2に定めた学校に限る）を対象とした新たな取り組み実施時の相談窓口を開設する。（別紙2）

2 各学校の相談窓口事務所は、学校側から実施への相談を受けた場合は、必要に応じて各機関・団体へ協力を要請し、会員間で連携し可能な範囲において、学校側への協力を行うものとする。

なお、各校と各機関・団体の間での既存の関係で行っている取り組みについては、これまで通りの関係を継続していくものとする。

（部会事務局）

第5条 会議および部会の庶務は、北陸地方整備局企画部及び建政部が関係機関の協力を得て処理する。

（雑則）

第6条 この規約に定めるもののほか、会議の運営に関する事項その他必要な事項は、部会長が定める。

附 則 この規約は、平成27年6月23日から施行する。

新潟県部会会員名簿

	所 属	役 職
1	(一社) 日本建設業連合会	北陸支部 総務委員
2	(一社) 新潟県建設業協会	常務理事
3	(一社) 建設コンサルタント協会	北陸支部 副支部長
4	(一社) 新潟県測量設計業協会	副会長
5	新潟大学 工学部 建設学科	
6	長岡技術科学大学 環境・建設系	
7	長岡工業高等専門学校 環境都市工学科	
8	新潟工業高校	校長
9	新発田南高校	校長
10	新潟労働局	職業安定課長
11	○北陸地方整備局	地方事業評価管理官
12	建政部	建設産業調整官
13	信濃川河川事務所	事務所長
14	新潟国道事務所	事務所長
15	北陸技術事務所	事務所長
16	新潟県	土木部副部長 (監理課長)
17	新潟県教育委員会	高等学校教育課長
18	新潟県教育委員会	義務教育課長
19	新潟市	技術管理課長
20	(一社) 新潟県地質調査業協会	理事
21	(一社) 日本道路建設業協会北陸支部	幹事長

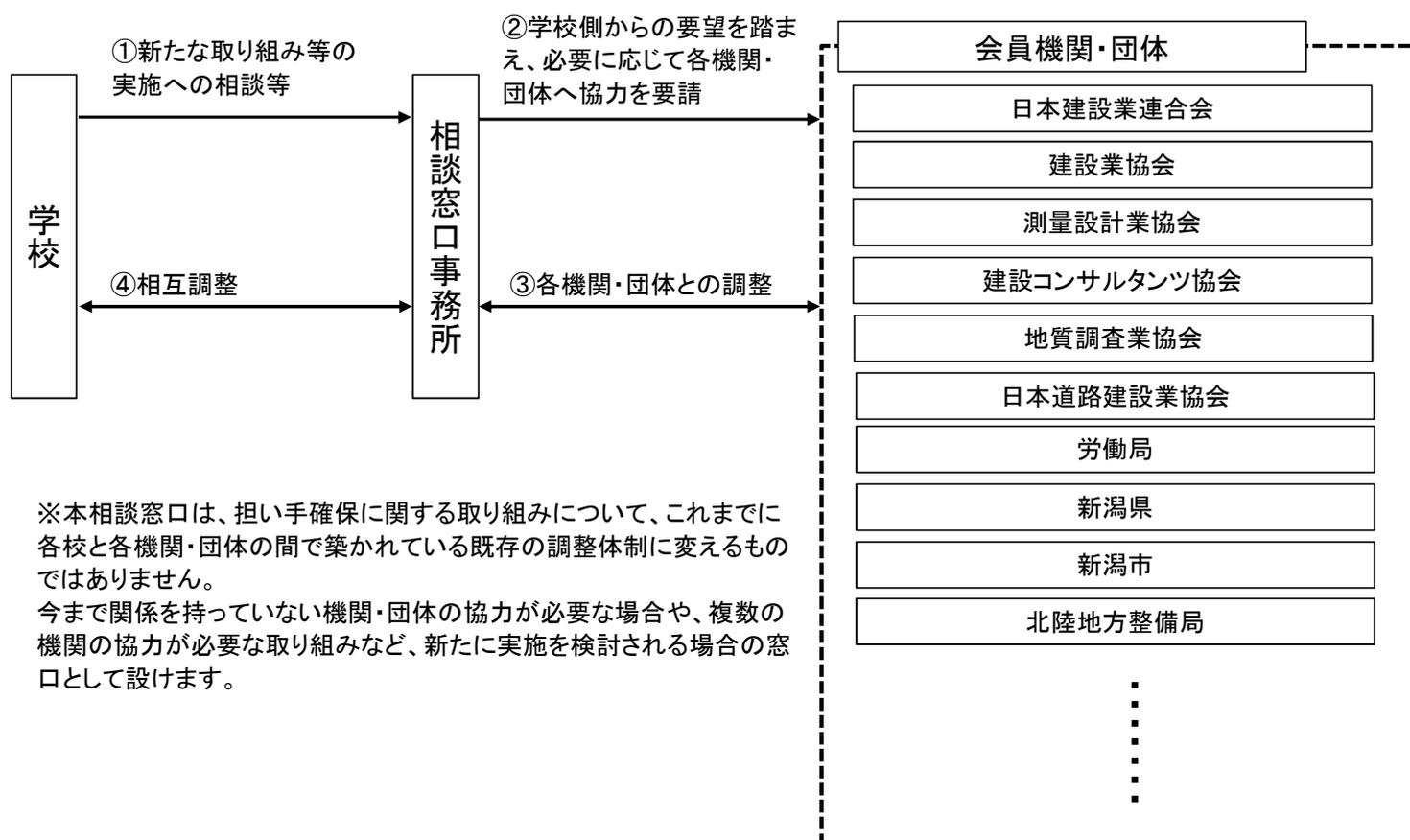
○：部会長

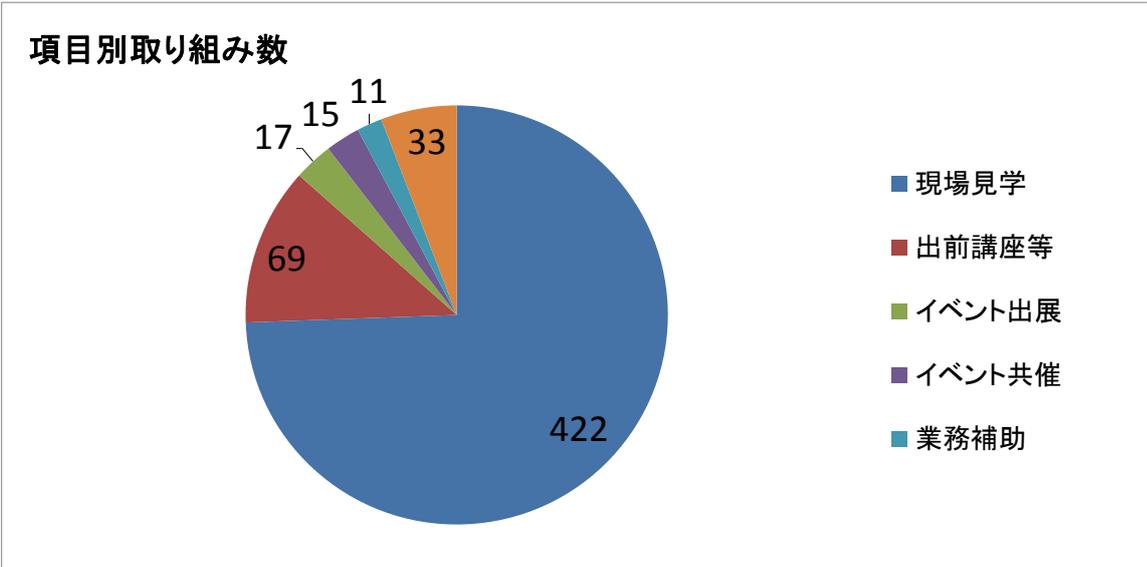
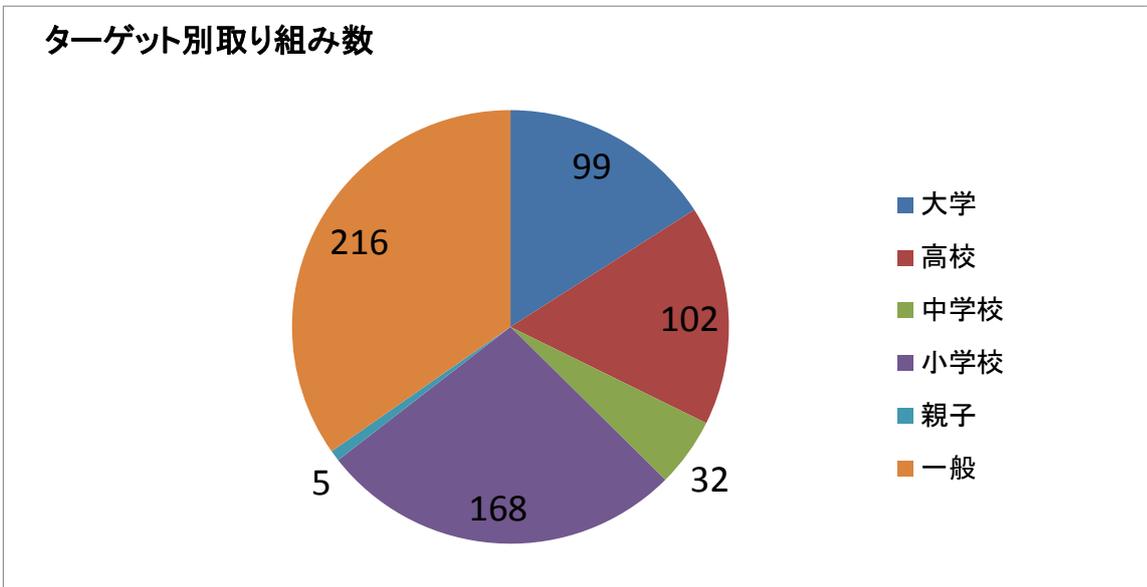
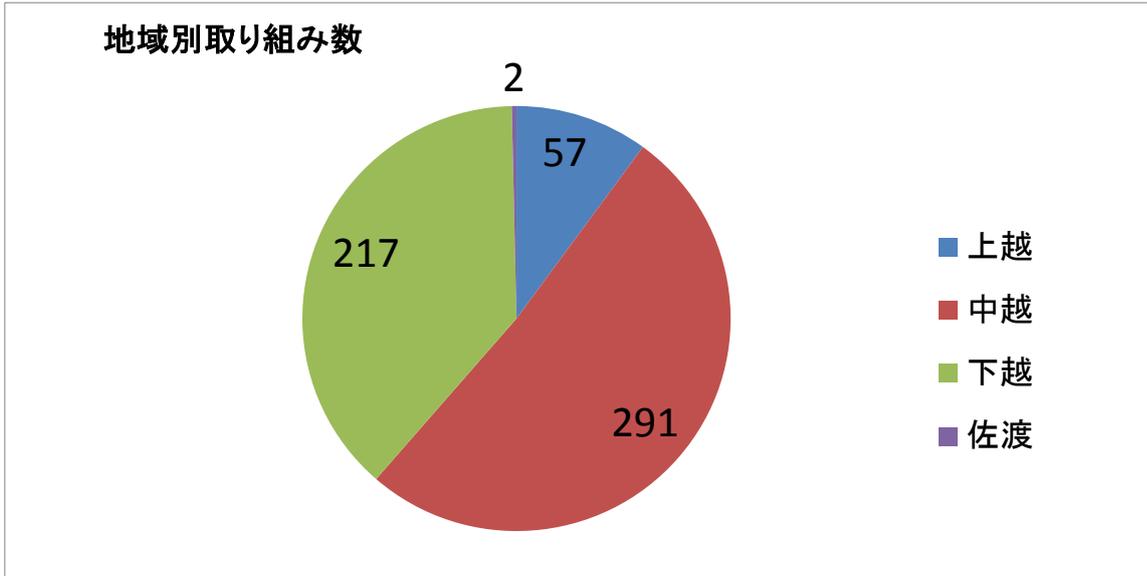
建設系大学・高専、高等学校の担い手確保の取り組みに関する相談窓口事務所

平成28年4月1日時点

学校名	北陸地方整備局 担当事務所名	役職	氏名	連絡先	メールアドレス	備考
新潟大学	信濃川下流河川 事務所	事業対策官	木村 己与	025-266-7131(代) 025-266-7346(調)	kimura-m84y6@mlit.go.jp	
長岡技術科学大学	信濃川河川事務所	副所長	内藤 和久	0258-32-3020	naitou-k844q@mlit.go.jp	
長岡高専	長岡国道事務所	建設専門官	栗原 和幸	0258-36-4582	kurihara-k84vj@mlit.go.jp	
新発田南	新潟港湾・空港整備 事務所	副所長	風間 悟	025-222-6111	kazama-s84j8@pa.hrr.mlit.go.jp	
新潟工業	阿賀野川河川 事務所	主任指導官	日野 充人	0250-23-4461	hino-m84tn@hrr.mlit.go.jp	
新潟県央工業	信濃川下流河川 事務所	事業対策官	木村 己与	025-266-7131(代) 025-266-7346(調)	kimura-m84y6@mlit.go.jp	
加茂農林	信濃川下流河川 事務所	事業対策官	木村 己与	025-266-7131(代) 025-266-7346(調)	kimura-m84y6@mlit.go.jp	
上越総合技術	高田河川国道 事務所	副所長	池田 博明	025-523-3136	ikedah8488@mlit.go.jp	
高田農業	高田河川国道 事務所	副所長	池田 博明	025-523-3136	ikedah8488@mlit.go.jp	
新津工業	阿賀野川河川 事務所	主任指導官	日野 充人	0250-23-4461	hino-m84tn@hrr.mlit.go.jp	
塩沢商工	長岡国道事務所	建設専門官	栗原 和幸	0258-36-4582	kurihara-k84vj@mlit.go.jp	

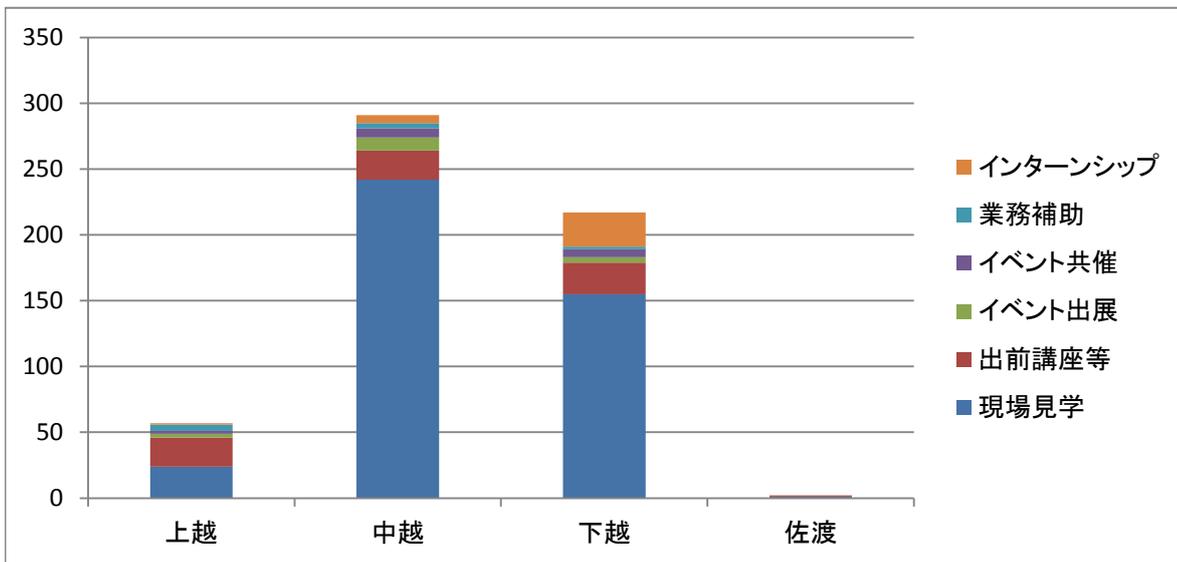
相談窓口フロー





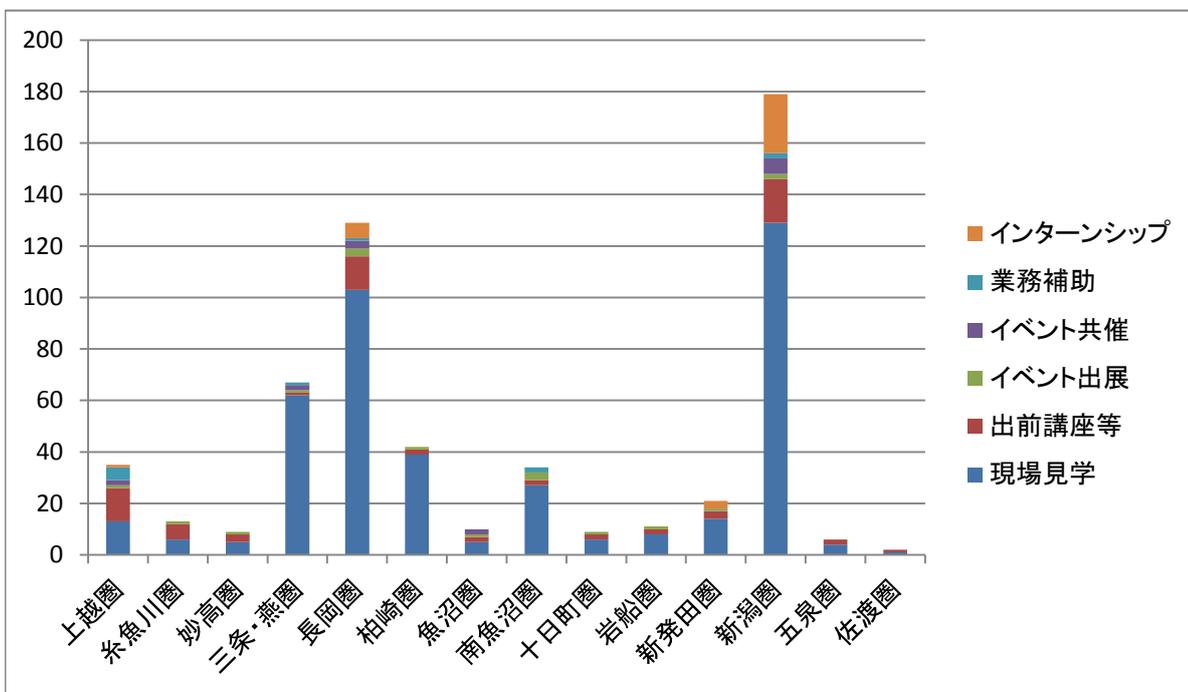
地域別イベント実施数

4地域分割別イベント実施数



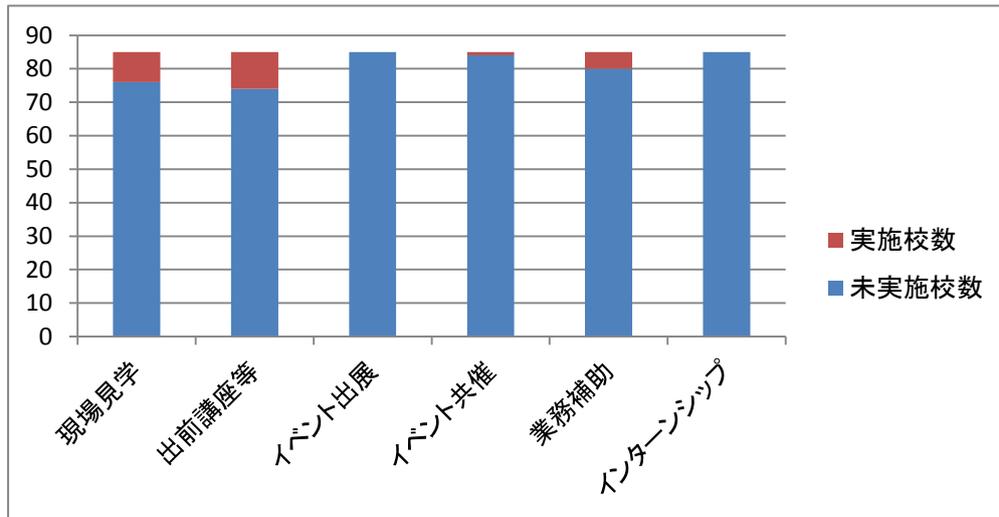
注) 三条・燕圏は中越地域として計上

地域圏別イベント実施数



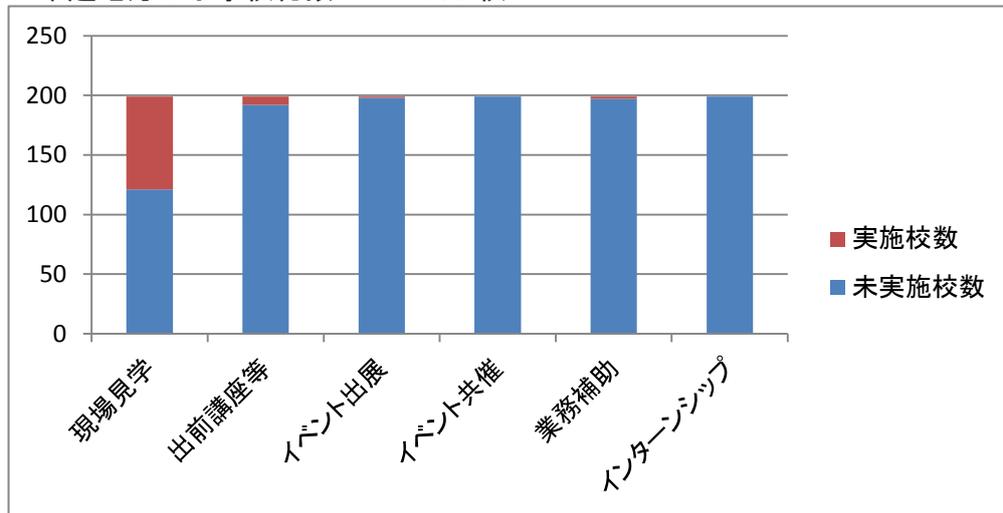
上越地方の小学校を対象としたイベント別実施校率

上越地方の小学校総数 85 校



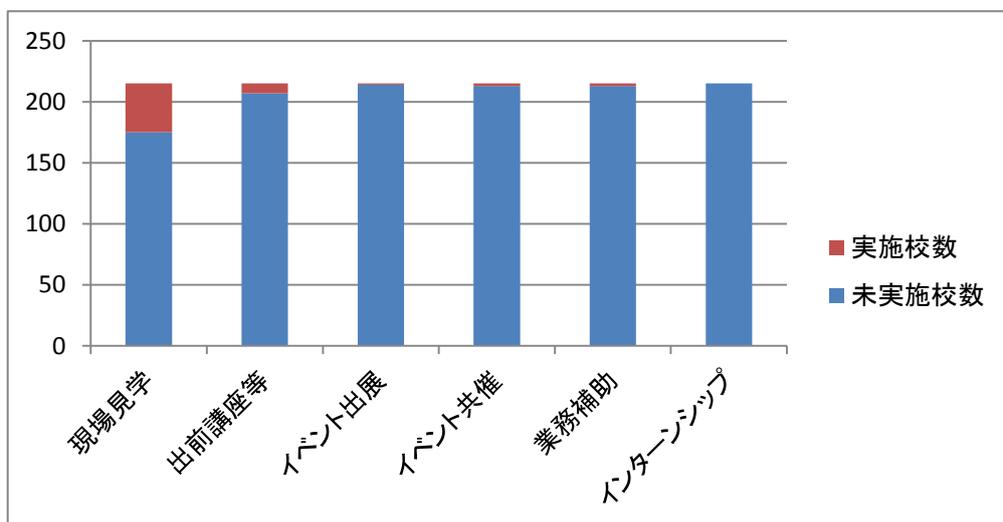
中越地方の小学校を対象としたイベント別実施校率

中越地方の小学校総数 199 校



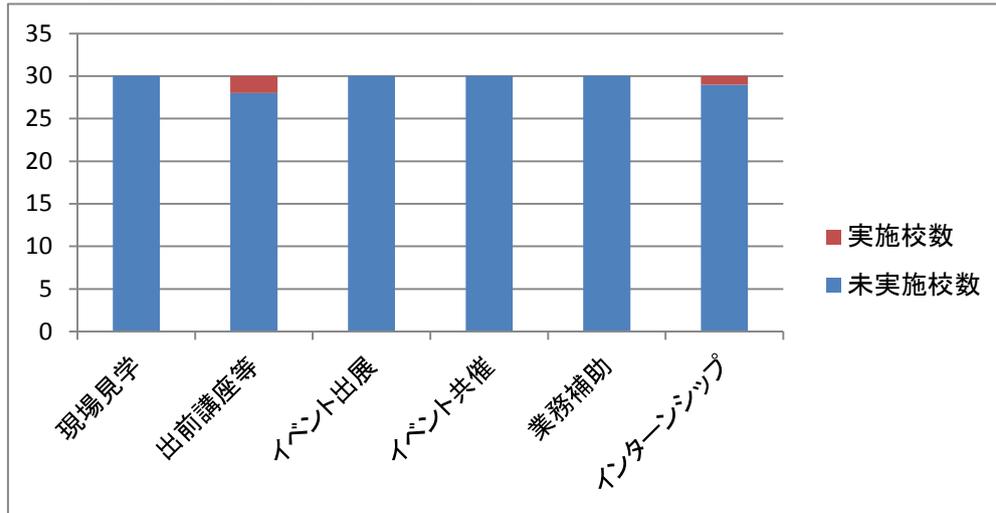
下越地方の小学校を対象としたイベント別実施校率

下越地方の小学校総数 215 校 (佐渡を含む)



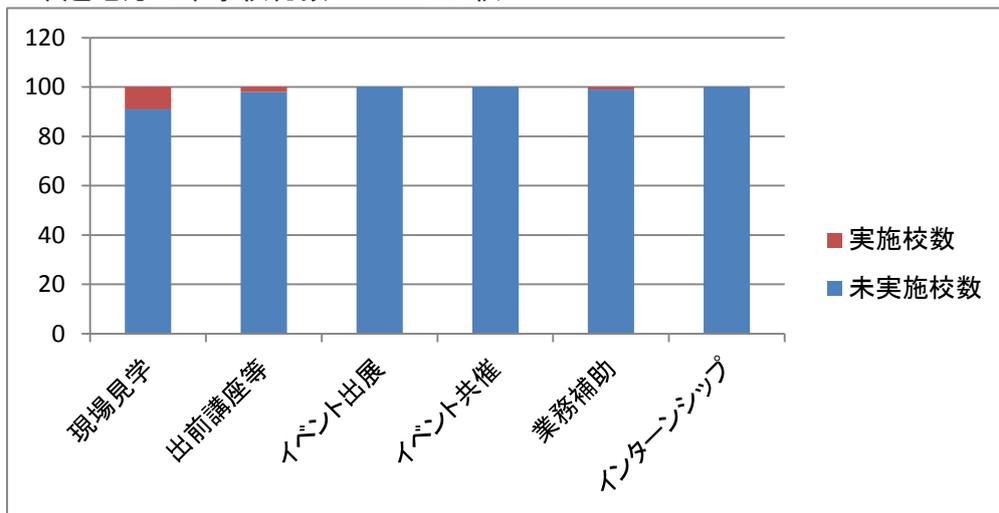
上越地方の中学校を対象としたイベント別実施校率

上越地方の中学校総数 30 校



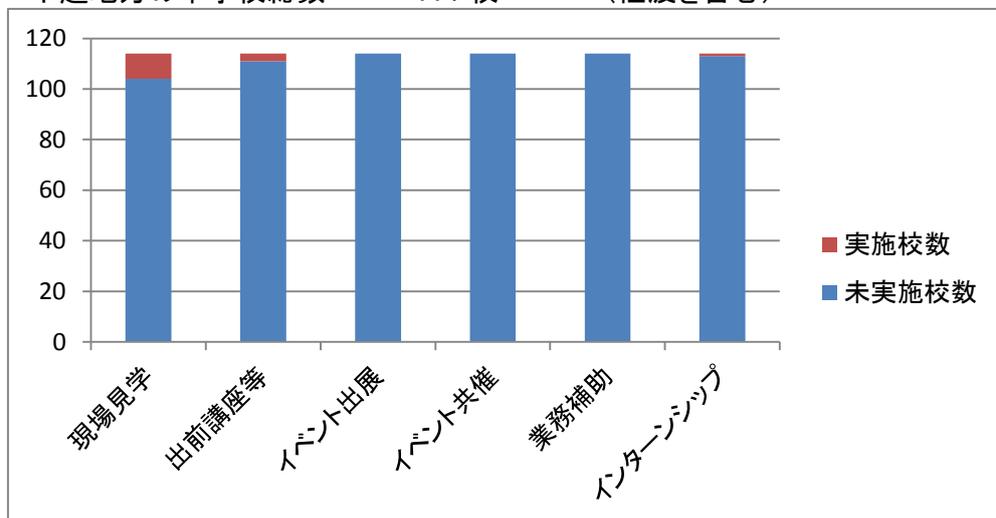
中越地方の中学校を対象としたイベント別実施校率

中越地方の中学校総数 100 校



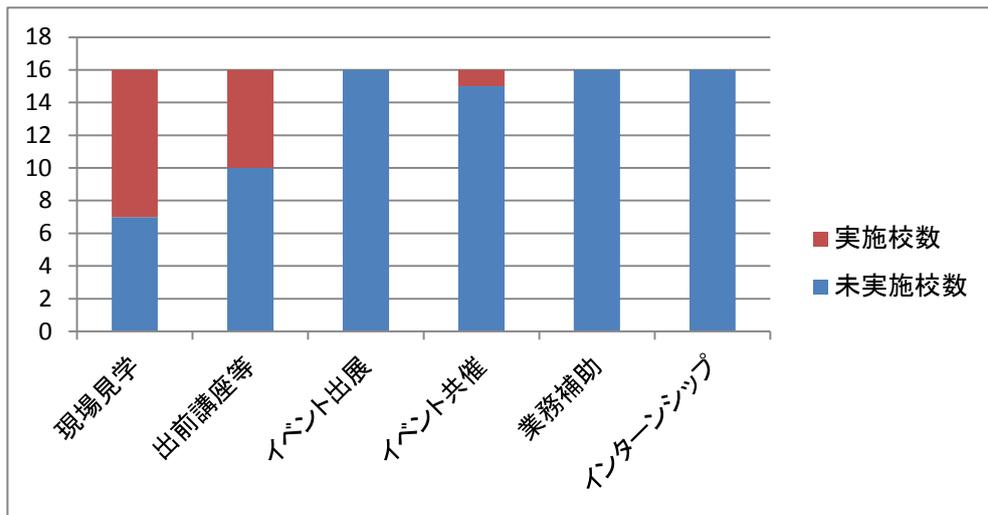
下越地方の中学校を対象としたイベント別実施校率

下越地方の中学校総数 114 校 (佐渡を含む)



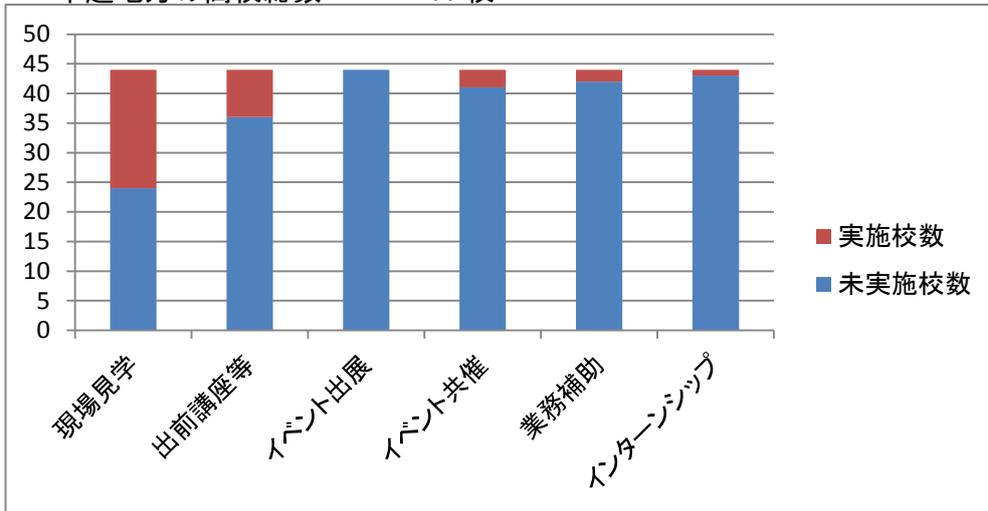
上越地方の高校を対象としたイベント別実施校率

上越地方の高校総数 16校



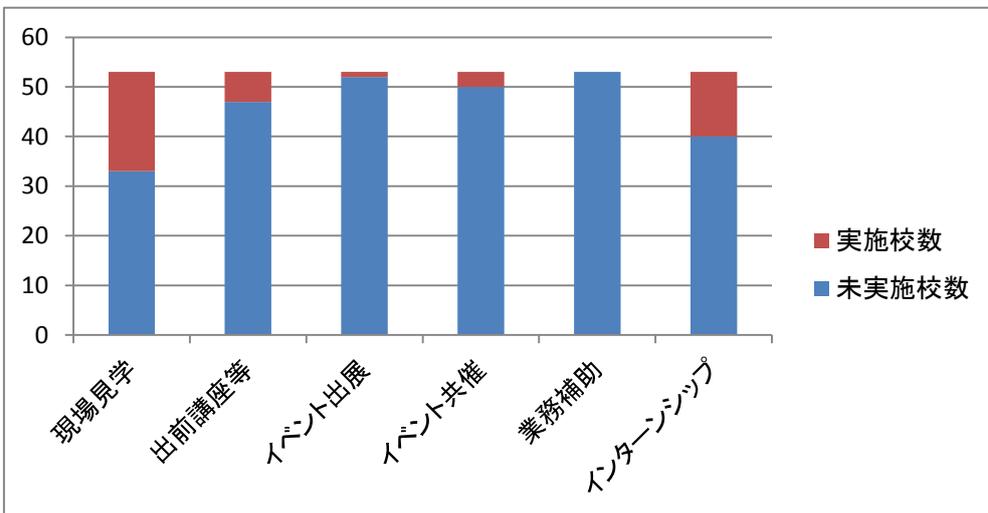
中越地方の高校を対象としたイベント別実施校率

中越地方の高校総数 44校

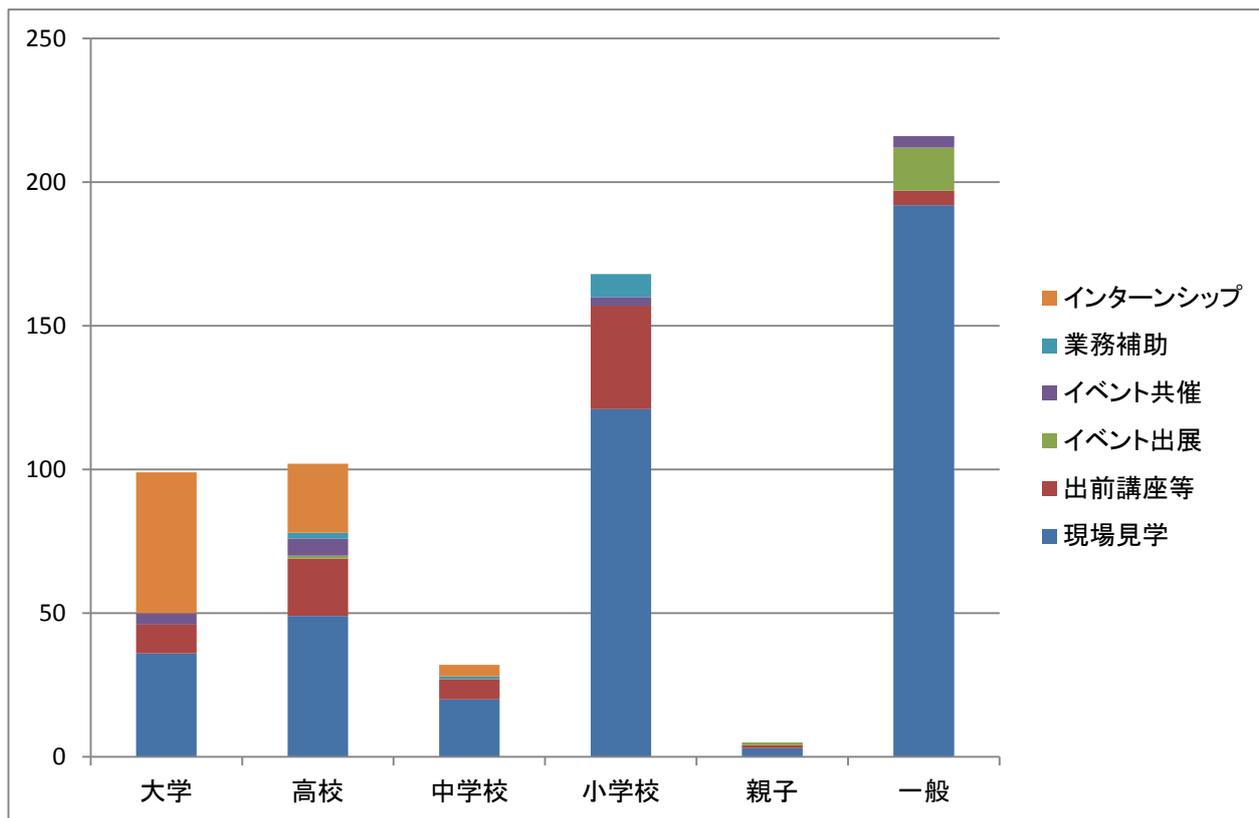


下越地方の高校を対象としたイベント別実施校率

下越地方の高校総数 53校 (佐渡を含む)

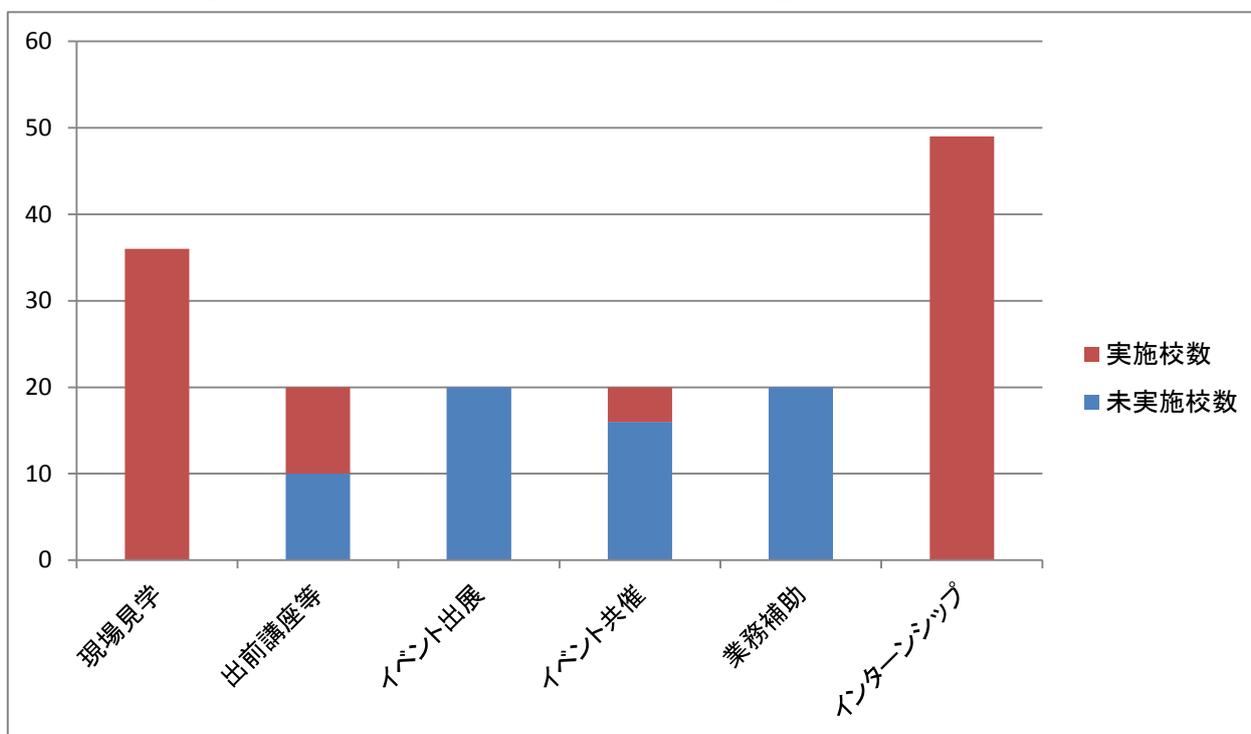


ターゲット別イベント取り組み数



【参考】県内大学のイベント別実施率

新潟県内大学数 20校 (短期大学を含む)



注) 現場見学及びインターンシップは、1大学で複数計上されたことで県内大学数を超えている

平成28年度 インターンシップに関する学生受け入れ情報等について(新潟県内)

資料3

(H28.6.17現在)

所在地		機関・企業名	大学・高専等の区分	受入可能人数	受け入れ時期(期間)	募集の〆切	問い合わせ先	ホームページへのリンクアドレス等	実習内容	備考
県名	市町村名									
新潟県	柏崎市	株式会社植木組	大学・高専	未定	8月17日～8月31日 上記の内の1日間 (日程・日数は応相談)	2016年7月31日	【本社総務部人事課】 ●住所:945-8540 新潟県柏崎市新町2-8 ●電話番号:0129-419-288 ●Eメール:ueki-jinji@uekigumi.co.jp	【マイナビ2018】 https://job.mynavi.jp/18/pc/corinfo/displayInternship/index?corpId=53607&optNo=DOrl2 【当社HP】 http://www.uekigumi.co.jp/	施工管理業務体験(土木・建築)	
新潟県	新潟市	株式会社加賀田組	大学・大学院・高専・専門学校	2	8月1日(月)～9月24日(金) 1日～14日(平日のみ)	9月10日(金)	株式会社加賀田組 管理本部人事部 野島宛 TEL:025-247-8188 E-mail:jinji@kagata.co.jp	http://www.kagata.co.jp/	・建設業(総合建設業)、加賀田組についての説明 ・現場見学(実習1日の方) ・現場での施工体験(実習2日以上の方) *実習場所が現場となるため、所在地と異なる場合があります。	インターンシップ 実習保険に加入可能な方
新潟県	新潟市	鹿島建設(株)北陸支店	大学	若干名	主に7～9月 随時	—	鹿島建設(株)北陸支店 管理部総務グループ 内藤グループ長 025-243-3763	http://www.kaiima.co.jp/	実際の建設現場での業務を経験してもらう。 【専攻】土木、建築施工、建築設備、機械・電気 他	
新潟県	未定	清水建設(株)北陸支店	大学生 大学院生	未定	2016/9/5 2016/9/14	2016/7/10	清水建設インターンシップ事務局 住所 東京都中央区京橋二丁目16-1 電話 03-3538-9888(平日10:00～18:00)	http://www.shimz.co.jp/event/index.html#event110	◆建設業界・清水建設について学ぶグループワーク◆建設現場を中心とした概要説明(1日の業務の流れなど)◆先輩社員によるパネルディスカッション◆技術研究所見学◆現場実習※11月にフォローアッププログラム有	80名の選考通過してきた、北陸支店管内の大学出身者が対象となります。他県の現場となる場合もあり
新潟県	新潟市	大成建設株式会社	大学・大学院	1	8月～9月の間で 2週間を限度とする	未定	北信越支店営業部 岩佐 電話025-247-1191	http://www.taisei.co.jp/	信越線新潟駅付近高架化天神尾工区(作)にて実習。	
新潟県	新潟県内 当社事業所	第一建設工業(株)	大学	2名程度	8月中旬 9月中旬	7月31日	第一建設工業(株) 社員・業務サポート本部人事キャリア開発部 インターンシップ担当 田口 電話 025-241-8111 jinji@daiichi-kensetsu.co.jp	http://www.daiichi-kensetsu.co.jp/	鉄道工事等の現場体験(予定) ①鉄道近接工事の概要紹介、②鉄道土木工事の施工管理業務、③軌道工事の管理業務、④その他、民間工事(マンション等)の現場あり	時期や期間、実習場所は弊社事業所内とします。相互に相談の上決定します。
新潟県	新潟市	㈱福田組	大学、高専、 高校	若干	8月中旬～9月中旬	7月31日	総務人事部まで電話またはメールでお問い合わせください。025-266-9119、recruit@dws.fkd.co.jp	http://www.fkd.co.jp/ 【リクナビ】 https://job.rikunabi.com/2018/company/r862600026/internship/	建設工事現場での施工管理業務の実習	
新潟県	新潟市	㈱本間組	大学	2～3名	8/22～9/16 うち1～2週間	7月末	人事部人事課 加藤克人 TEL:025-229-8210 Mail:jinji@honmagumi.co.jp	http://www.honmagumi.co.jp/	土木・建築施工管理職体験(測量業務、品質監理、工事写真撮影・整理、安全管理、工事書類作成補助 等)当社職員の補助役として実際の工事現場で実習していただきます。	
新潟県	新潟市	(株)廣瀬	大学、高専、 専門、高校	各2	7月上旬～12月上旬 2～5日間	10月31日(月)	土木事業部 横山まで電話または、メールでお問い合わせ下さい。025-377-1503(土木直通) tsunehiko-y@n-hirose.co.jp	http://www.n-hirose.co.jp/	土木工事現場の施工管理業務を体験 (各現場及び時期により実習内容は異なります) 実習期間は2～5日間で要相談	3～4現場で受入が可能です
新潟県	上越市	田中産業(株)	大学、高専、 専門、高校	2	8月上旬～9月下旬 5日間	8月上旬	土木部 池田 又は総務 塚田まで 025-525-3000	http://www.tanakaind.co.jp/	土木・建築の施工管理に関する業務 ・会社概要、事業紹介、建築・土木現場見学 ・専門とする建築・土木の現場にて施工管理を体験 ・測量、CAD、日常管理書類の作成など	

平成28年度 インターンシップに関する学生受け入れ情報等について(新潟県内)

資料3

(H28.6.17現在)

所在地		機関・企業名	大学・高専等の区分	受入可能人数	受け入れ時期(期間)	募集のべ切	問い合わせ先	ホームページへのリンクアドレス等	実習内容	備考
県名	市町村名									
新潟県	長岡市	㈱中元組	大学、高専、専門	3	随時 5日間	随時	総務部小黒まで電話またはメールでお問い合わせ下さい。0258-75-3151、somu@nakamotogumi.co.jp	http://www.nakamotogumi.co.jp	河川、道路、圃場等の工事現場の管理業務を体験	
新潟県	上越市	西田建設(株)	大学、高専、高校	2	7月上旬～8月下旬	6月30日(木)	総務部高橋まで電話でお問い合わせ下さい。電話:025-534-2445	http://nishida-const.co.jp	土木工事現場の監理業務を体験	
新潟県	魚沼市	伊米ヶ崎建設㈱	大学、高専、専門、高校	2	7月上旬～10月下旬 5日間	8月31日(水)	採用担当迄お問い合わせ下さい。025-792-1230 saiyu@imegasaki.co.jp	http://www.imegasaki.co.jp	土木・建築工事現場の監理業務を体験	期間については都合に合わせて調整可能です。
新潟県	十日町市	㈱村山土建	高校	未定	7月下旬～8月上旬	随時	管理本部山本まで電話でお問い合わせ下さい。025-752-3721	http://www.murayamadoken.com/	土木工事現場の管理業務を体験	
新潟県	上越市	㈱牛木組	大学、高専、専門、高校	2	7月上旬～9月下旬 2日間	8月31日(水)	総務部までお問い合わせ下さい。担当:牛木 025-537-2316	http://www.usikigumi.co.jp	土木または建設工事現場の管理業務を体験	
新潟県	新潟市	(株)小川組	大学、高専、専門、高校	3	随時 3日間	随時	総務部小柳まで電話またはメールでお問い合わせ下さい。0250-22-1700、koyanagi@ogawagumi.com	http://www.ogawagumi.com/	土木、建築、設備工事現場の施工管理体験	
新潟県	上越市	(株)澤井商事	高校	3	7月上旬～8月上旬	6月30日(木)	総務部まで電話でお問い合わせ下さい。025-532-2345		土木工事現場の監理業務を体験	
新潟県	南魚沼市	(株)カネカ建設	大学、高専、高校	2	10月上旬～11月上旬 未定	未定	総務部まで電話でお問い合わせ下さい。025-782-1473	http://k-kaneka.co.jp/kensetu/	土木または建築工事現場の施工管理実習	
新潟県	胎内市	㈱小野組	大学・高専	2	8月上旬～8月下旬	7月15日(金)	管理部総務課まで電話またはメールでお問い合わせください。0254-43-2123、soumu@ono-gumi.co.jp	http://www.onogumi.co.jp/	土木・建築工事現場の施工管理実習(現場によって実習内容は異なります)	
新潟県	新潟市	㈱水倉組	大学、高専、専門	3	7月上旬～8月下旬 3～5日間	6月30日(木)	総務部までお問い合わせ下さい。(水倉) 0256-72-2371	http://www.mizukura.co.jp/	土木または建築工事現場の施工管理実習	
新潟県	新潟市	エヌシーイー株式会社	大学、高専、高校	3	7月上旬～8月下旬 4日間	6月30日(火)	総務部 八木まで 電話連絡願います。025-285-8540	http://www.nceinc.co.jp	CAD操作の基本練習・構造物計画の実習・完成構造物の見学・維持管理の実習	
新潟県	新潟市	開発技建株式会社	大学、高専、高校	5名程度	7月下旬～9月下旬 3日間	9月16日(金)	マイナビ、リクナビに情報を掲載しております。お急ぎの方は総務部 樋浦まで電話(025-245-7131)または、メール(saiyo@khgk.co.jp)でお問い合わせ下さい。	http://www.khgk.co.jp	道路、橋梁、河川等に関わる調査・計画・設計を体験してもらいます。CADを使用した設計業務やデータ解析業務など、複数の体験メニューを用意しております。	
新潟県	新潟市	株式会社キタック	大学、高専、工業高校	2	7月上旬～8月下旬	6月下旬	総務部まで電話(025-281-1111)またはメール(soumu@kitac.biz)でお問い合わせください。	http://kitac.co.jp/	技術部での調査・設計に関する実務を体験する	
新潟県	新潟市	(株)構造技研新潟	大学、高専、高校、専門学校	2	7月上旬～8月下旬 未定	6月30日(火)	総務課小柳までメールでお問い合わせください。ni.soumu@kozogiken-niigata.co.jp	http://www.kozogiken-niigata.co.jp/	設計部での実務体験及び現場実務体験	
新潟県	新潟市長岡市	㈱ナルサワコンサルタント	大学、高専	新潟市2名 長岡市2名	7月上旬～8月下旬 3日間	受入期間中随時	総務部・笹川まで電話または、メールでお問い合わせください。025-282-2070 m-sasaga@narusawa-net.co.jp	http://www.narusawa-net.co.jp	道路、河川、土木構造物等の現地調査、診断、計画、設計業務を体験	
新潟県	新潟市	㈱ナルサワコンサルタント	大学、高専	新潟市2名	7月上旬～8月下旬	受入期間中随時	総務部・笹川まで電話または、メールでお問い合わせください。025-282-2070	http://www.narusawa-net.co.jp	測量業務の現場実務及び成果取りまとめを体験	

平成28年度 インターンシップに関する学生受け入れ情報等について(新潟県内)

資料3

(H28.6.17現在)

所在地		機関・企業名	大学・高専等の区分	受入可能人数	受け入れ時期(期間)	募集のメチ	問い合わせ先	ホームページへのリンクアドレス等	実習内容	備考
県名	市町村名									
新潟県	上越市		大学、高専	上越市2名	3日間	スズカ	m-sasaga@narusawa-net.co.jp			
新潟県		新潟県土木部 県内関係地域機関	大学、高専、 高校	14名 程度	7月下旬～9月下旬 2週間	6月13日(月)	監理課企画調整室まで電話または、メールでお問い合わせください。025-280-5383、 ngt080010@pref.niigata.lg.jp	http://www.pref.niigata.lg.jp/dobokukannri/1356807230671.html	職員の補助業務(調査、測量、設計、管理ハトール、施工監理等)を体験	
新潟県	新潟市	新潟市土木部土木総務課 (東部・西部地域土木事務所)	大学、高校	大学2 高校5	7月上旬～8月下旬 大2週間・高2日間	概ね6月下旬	土木総務課まで電話または、メールでお問い合わせ下さい。025-226-3006、somu.pw@city.niigata.lg.jp		道路測量(実習)等、現場実務を体験	
新潟県	新潟市	新潟市建設部 (住環境政策課、建築行政課 公共建築第1課、2課)	特になし	4	8月上旬～9月下旬 5日間	6月29日(水)	総務部人事課まで 025-226-2493	http://city.niigata.lg.jp/shisei/saiyo/internternship/jinji_internt2016.html	・建築関係法令等の説明 ・建築設計図書作成 ・公共施設工事の現場見学	
新潟県	長岡市	大原技術(株)	大学、高専、 専門学校	1	7月上旬～8月下旬 1週間	6月30日(木)	総務営業部までメールでお問い合わせください。 info@ohara-g.co.jp	http://www.ohara-g.co.jp/	測量、土木設計、CADによる作図等の実習	
新潟県	新潟市 妙高市	(株)アルゴス	大学、高専、 専門学校	2	7月上旬～8月下旬 1週間	6月30日(木)	総務部久保まで電話または、メールでお問い合わせください。0255-72-3448 argos@argos-net.co.jp	http://www.argos-net.co.jp/	測量業務の現場実務、土木設計に関する実務を体験	
新潟県	上越市	(株)梨本測量社	大学、高専、 高校	2	7月上旬～8月下旬 5～10日間	6月30日(木)	総務 池内まで電話または、メールでお問い合わせください。0255-522-5228 xyz@ruby.ocn.ne.jp	http://www.xyz-nashimoto.sakura.ne.jp/	測量業務の現場実務を体験	
新潟県	長岡市	高橋調査設計(株)	大学、高専等	2	8月中旬～8月下旬 5日間	7月15日(金)	総務課中村まで電話または、メールでお問い合わせください。0258-34-1331 takacho@takacho.co.jp	http://www.takacho.co.jp/	測量・土木設計(道路・都市計画等)・CADによる作図等を体験	
新潟県	新潟市	(株)ナカノアイシステム	大学	2～3	8月3日～8月7日 1週間	7月21日(木)	企画部長崎まで電話または、メールでお問い合わせください。025-284-2100 nagasaki@nais21.co.jp	http://www.nais21.co.jp	三次元レーザー計測実習、統合型GIS企画書作成実習	
新潟県	新潟市	(株)山田設計	大学、高専、 高校	2	7月上旬～8月下旬 1週間	6月20日(月)	技術部櫻井まで電話または、メールでお問い合わせください。0250-22-4753 fronto@yamada-sekkei.jp		測量業務の現場実務を体験	
新潟県	新潟市	旭調査設計株式会社	大学、高専	1	7月上旬～8月下旬 1週間	6月30日(火)	地質調査部、栢森(かやもり)まで電話またはメールでお問い合わせください。025-245-8345、 ui.kayamori@asahi-cs.co.jp	http://www.asahi-cs.info/	ボーリングや孔内試験等の現場体験と得られたデータの整理・解析	
新潟県	新潟市	旭調査設計株式会社	大学、高専	2名以 内	夏休み 10日間程度(連続)	6月30日(木)	総務部北見まで電話または、メールでお問い合わせください。025-245-8345、hr.kitami@asahi-cs.co.jp	http://www.asahi-cs.info/	設計図作成、数量計算等の補助作業及び現場見学	
新潟県	新潟市	株式会社村尾技建	大学、高専	2	8月上旬～9月下旬 10日間	6月30日(木)	経営企画室 日沖まで、電話またはメールでお問い合わせください。025-284-6100、 hioki@muraogiken.co.jp	http://www.muraogiken.co.jp	地質調査業務に関する全般的内容について、実地実習を含めた研修	
新潟県	新潟市	株式会社興和	大学、高専、 専門、高校	2名程度	7月下旬～12月下旬 1～2週間(調整可)	随時	総務課 南雲まで電話または、メールでお問い合わせください。025-281-8811ms-nagumo@kowanet.co.jp	http://www.kowanet.co.jp	技術部門(調査・室内試験・設計・施工管理等)における実務体験	
新潟県	新潟市	(株)新協地質	大学、高専 高校	2	7月下旬～8月下旬 5日間	7月8日(金)	総務部 五十嵐まで電話または、メールでお問い合わせください。 025-383-1771、shinky@shinkyochishitsu.co.jp	http://www.shinkyochishitsu.co.jp	地質調査業務に関する実務を体験	

平成28年度 建設界担い手イベントカレンダー【中越地域・第2四半期】

7月					8月					9月										
地域	日	内容		場所(対象)	実施機関	地域	日	内容		場所(対象)	実施機関	地域	日	内容		場所(対象)	実施機関			
		区分	対象					区分	対象					区分	対象					
三条	7/12	現場見学	高校生	機械システム科1年生全員を対象、2年生からの選択科目を判断する現場見学会。(八十里越)	八十里越	地整	三条	継続	現場見学	一般	笠堀ダムの特別見学、大谷ダムの探訪ツアーを実施。	県	三条	28	現場見学	大学生	環境都市工学科3年生を対象。(予定:八十里越 6号トンネル)	八十里越	地整	
三条	継続	現場見学	一般	笠堀ダムの特別見学、大谷ダムの探訪ツアーを実施。		県	三条	未定	現場見学	大学生	信濃川河川事務所が取り組む治水事業等について説明する。	信濃川大河津資料	地整	三条	継続	現場見学	一般	笠堀ダムの特別見学、大谷ダムの探訪ツアーを実施。		県
魚沼	未定	現場見学	一般	広神ダム、破間川ダムの見学会を実施。		県	魚沼	通年	その他	一般	広報誌「せせらぎかわら版」を発行し、地域住民へ配布(回覧)。		県	三条	未定	現場見学	一般	五十嵐川災害復旧工事現場見学会を実施。		県
魚沼	未定	出前講座(講義)	小学生	土木PR講座	魚沼管内	県	共通	継続	現場見学	高校生	現場見学(場所未定)		建協	三条	未定	現場見学	小学校	小学校高学年を対象にした「現場見学会」を実施	調整中(大河津分)	建協
魚沼	通年	その他	一般	広報誌「せせらぎかわら版」を発行し、地域住民へ配布(回覧)。		県							長岡	未定	現場見学	長岡市立宮内中学校	校外学習の事業所訪問を受け入れ	信濃川河川事務所	地整	
													長岡	未定	現場見学	長岡市立東中学校	校外学習の事業所訪問を受け入れ	信濃川河川事務所	地整	
													長岡	未定	出前講座(講)	長岡市立栖吉小学校	出前講座の実施	長岡市立栖吉小学	地整	
													魚沼	継続	現場見学	小学生	川の学習会	南魚沼管内	県	
													魚沼	継続	出前講座(講)	中学生	建設学習会	南魚沼管内	県	
													魚沼	継続	出前講座(講)	小学生、中学生	防災教室	南魚沼管内	県	
													魚沼	未定	橋梁点検実習	高校生	土木系科目を履修する3年生と業者(建設会社、コンサル)の若手技術者、長岡国道の若手職	国道17号湯沢地区	地整	
													魚沼	未定	講座等	高校生	講座(各種原位置試験の実施)	学校	地質協	
													魚沼	通年	その他	一般	広報誌「せせらぎかわら版」を発行し、地域住民へ配布(回覧)。		県	
													十日町	未定	現場見学	一般	管内の土木施設を見学するバスツアーを開催。		県	
													共通	継続	現場見学	高校生	現場見学(場所未定)		建協	

平成28年度 建設界担い手イベントカレンダー【中越地域・第3四半期】

10月					11月					12月										
地域	日	内容		場所(対象)	実施機関	地域	日	内容		場所(対象)	実施機関	地域	日	内容		場所(対象)	実施機関			
		区分	対象					区分	対象					区分	対象					
三条	継続	現場見学	一般	笠堀ダムの特別見学、大谷ダムの探訪ツアーを実施。	県	三条	継続	現場見学	一般	笠堀ダムの特別見学、大谷ダムの探訪ツアーを実施。	県	長岡	未定	現場見学	長岡市立宮内中学校	校外学習の事業所訪問を受け入れ	信濃川河川事務所	地整		
三条	未定	現場見学	小学校	小学校高学年を対象にした「現場見学会」を実施	建協	三条	未定	現場見学	小学校	小学校高学年を対象にした「現場見学会」を実施	建協	長岡	未定	現場見学	長岡市立東中学校	校外学習の事業所訪問を受け入れ	信濃川河川事務所	地整		
三条	未定	現場見学	一般	国道290号朝日大橋の工事現場見学会を実施。	県	三条	未定	イベント	一般	地元イベントにて、除雪器械の展示・試乗、除雪事業の紹介するパネルを展示。	県	長岡	未定	出前講座(講)	長岡市立栖吉小学校	出前講座の実施	長岡市立栖吉小学校	地整		
魚沼	継続	出前講座(講義)	中学生	建設学習会	南魚沼管内	県	長岡	未定	現場見学	長岡市立宮内中学校	校外学習の事業所訪問を受け入れ	信濃川河川事務所	地整	長岡	未定	講座	大学生	環境都市工学科3年生を対象。(予定:連続講座3~5コマ程度(90分/1コマ))	学校	地整
魚沼	継続	出前講座(講義)	小学生、中学生	防災教室	南魚沼管内	県	長岡	未定	現場見学	長岡市立東中学校	校外学習の事業所訪問を受け入れ	信濃川河川事務所	地整	魚沼	通年	その他	一般	広報誌「せせらぎかわら版」を発行し、地域住民へ配布(回覧)。	県	
魚沼	継続	現場見学	小学生	川の学習会	南魚沼管内	県	長岡	未定	出前講座(講)	長岡市立栖吉小学校	出前講座の実施	長岡市立栖吉小学校	地整	共通	継続	その他	一般	「建設写真コンテスト」の優秀作品を活用し、若年労働者の入職促進のためのイメージアップポスター「私たちの主張」の優秀作品を活用し、若年労働者の入職促進のための作品集を作成し、高等	建協	
長岡	未定	現場見学	長岡市立宮内中学校	校外学習の事業所訪問を受け入れ	信濃川河川事務所	地整	長岡	未定	出前講座(講)	小学生	除雪学習会	長岡管内	県	共通	継続	その他	一般		建協	
長岡	未定	現場見学	長岡市立東中学校	校外学習の事業所訪問を受け入れ	信濃川河川事務所	地整	長岡	未定	出前講座	一般	NPOと連携した土砂災害についての地域懇談会。	県								
長岡	未定	現場見学	一般	長岡管内の橋と道路について、現場見学会を実施。	県	長岡	未定	講座	大学生	環境都市工学科3年生を対象。(予定:連続講座3~5コマ程度(90分/1コマ))	学校	地整								
長岡	未定	出前講座(講義)	長岡市立栖吉小学校	出前講座の実施	長岡市立栖吉小学校	地整	魚沼	継続	現場見学	小学生	川の学習会	南魚沼管内	県							
長岡	未定	講座	大学生	環境都市工学科3年生を対象。(予定:連続講座3~5コマ程度(90分/1コマ))	学校	地整	魚沼	継続	出前講座(講)	中学生	建設学習会	南魚沼管内	県							
長岡	未定	イベント	一般	地元イベント(農業祭)と連携して、除雪器械や模型を使った事業説明などを実施。	県	魚沼	継続	出前講座(講)	小学生、中学生	防災教室	南魚沼管内	県								
柏崎	未定	イベント	一般	地元イベントと連携したイベントを開催し、除雪器械の体験試乗、事業紹介等を実施。	県	魚沼	未定	出前講座(講)	小学生	除雪学習会	南魚沼管内	県								
魚沼	通年	その他	一般	広報誌「せせらぎかわら版」を発行し、地域住民へ配布(回覧)。	県	魚沼	通年	その他	一般	広報誌「せせらぎかわら版」を発行し、地域住民へ配布(回覧)。	県									
魚沼	未定	イベント	一般	地元イベント(農業祭)と連携して、除雪器械の展示や測量体験、事	県															
魚沼	未定	イベント	一般	魚沼フォトコンテストにおいて土木の魅力伝える作品を募集、展示。	県															
魚沼	未定	イベント	一般	地元イベント(八色森市民まつり)と連携した土木フェアを開催し、重機体験試乗やパネル展	県															
十日町	未定	イベント	一般	地元イベント(十日町産業フェスタ)と連携した土木イベントを開催し、重機体験試乗やパネル展	県															
共通	継続	現場見学	高校生	現場見学(場所未定)	建協															

平成28年度 建設界担い手イベントカレンダー【中越地域・第4四半期】

H29. 1月						H29. 2月						H29. 3月								
地域	日	内容		場所(対象)	実施機関	地域	日	内容		場所(対象)	実施機関	地域	日	内容		場所(対象)	実施機関			
		区分	対象					区分	対象					区分	対象					
長岡	未定	現場見学	長岡市立宮内中学校	校外学習の事業所訪問を受け入れ	信濃川河川事務所	地整	長岡	未定	現場見学	長岡市立宮内中学校	校外学習の事業所訪問を受け入れ	信濃川河川事務所	地整	長岡	未定	現場見学	長岡市立宮内中学校	校外学習の事業所訪問を受け入れ	信濃川河川事務所	地整
長岡	未定	現場見学	長岡市立東中学校	校外学習の事業所訪問を受け入れ	信濃川河川事務所	地整	長岡	未定	現場見学	長岡市立東中学校	校外学習の事業所訪問を受け入れ	信濃川河川事務所	地整	長岡	未定	現場見学	長岡市立東中学校	校外学習の事業所訪問を受け入れ	信濃川河川事務所	地整
長岡	未定	出前講座(講義)	長岡市立栖吉小学校	出前講座の実施	長岡市立栖吉小学	地整	長岡	未定	出前講座(講義)	長岡市立栖吉小学校	出前講座の実施	長岡市立栖吉小学	地整	長岡	未定	出前講座(講義)	長岡市立栖吉小学校	出前講座の実施	長岡市立栖吉小学	地整
長岡	未定	講座	大学生	環境都市工学科3年生を対象。(予定:連続講座3~5コマ程度(90分/1コマ))	学校	地整	長岡	未定	講座	大学生	環境都市工学科3年生を対象。(予定:連続講座3~5コマ程度(90分/1コマ))	学校	地整	長岡	未定	講座	大学生	環境都市工学科3年生を対象。(予定:連続講座3~5コマ程度(90分/1コマ))	学校	地整
魚沼	通年	その他	一般	広報誌「せせらぎかわら版」を発行し、地域住民へ配布(回覧)。		県	魚沼	通年	その他	一般	広報誌「せせらぎかわら版」を発行し、地域住民へ配布(回覧)。		県	魚沼	通年	その他	一般	広報誌「せせらぎかわら版」を発行し、地域住民へ配布(回覧)。		県
共通	継続	その他	一般	「建設写真コンテスト」の優秀作品を活用し、若年労働者の入職促進のためのイメージアップポスター「私たちの主張」の優秀作品を活用し、若年労働者の入職促進のための作品集を作成し、高等		建協	共通	継続	その他	一般	「建設写真コンテスト」の優秀作品を活用し、若年労働者の入職促進のためのイメージアップポスター「私たちの主張」の優秀作品を活用し、若年労働者の入職促進のための作品集を作成し、高等		建協	共通	継続	その他	一般	「建設写真コンテスト」の優秀作品を活用し、若年労働者の入職促進のためのイメージアップポスター「私たちの主張」の優秀作品を活用し、若年労働者の入職促進のための作品集を作成し、高等		建協
共通	継続	その他	一般	「建設写真コンテスト」の優秀作品を活用し、若年労働者の入職促進のためのイメージアップポスター「私たちの主張」の優秀作品を活用し、若年労働者の入職促進のための作品集を作成し、高等		建協	共通	継続	その他	一般	「建設写真コンテスト」の優秀作品を活用し、若年労働者の入職促進のためのイメージアップポスター「私たちの主張」の優秀作品を活用し、若年労働者の入職促進のための作品集を作成し、高等		建協	共通	継続	その他	一般	「建設写真コンテスト」の優秀作品を活用し、若年労働者の入職促進のためのイメージアップポスター「私たちの主張」の優秀作品を活用し、若年労働者の入職促進のための作品集を作成し、高等		建協

平成28年度 建設界担い手イベントカレンダー【下越地域・第2四半期】

7月						8月						9月									
地域	日	内容		場所(対象)	実施機関	地域	日	内容		場所(対象)	実施機関	地域	日	内容		場所(対象)	実施機関				
		区分	対象					区分	対象					区分	対象						
岩船	4	現場見学	金屋小学校	職場体験	羽越河川国道事務	地整	岩船	3	その他	金屋小学校	教員への事前学習及び現場視察	金屋小学校	地整	岩船	中旬	出前講座(講)	保内小学校	川を学ぶ講座	保内小学校	地整	
岩船	中旬	現場見学	荒川中学校	職場体験	羽越河川国道事務	地整	岩船	継続	現場見学	高校性、一般	工事現場見学会	村上管内	県	岩船	継続	現場見学	高校性、一般	工事現場見学会	村上管内	県	
岩船	継続	現場見学	高校性、一般	工事現場見学会	村上管内	県	新発田	継続	現場見学	小学生	加治川の恵み講座	新発田管内	県	新発田	継続	現場見学	小学生	加治川の恵み講座	新発田管内	県	
新発田	継続	現場見学	小学生	加治川の恵み講座	新発田管内	県	新発田	継続	現場見学	一般	奥胎内ダムの見学会を実施、ダムカード配布等。		県	新発田	継続	現場見学	一般	奥胎内ダムの見学会を実施、ダムカード配布等。		県	
新発田	継続	現場見学	一般	奥胎内ダムの見学会を実施、ダムカード配布等。		県	新潟	23	イベント	県内中学生、保護者、引率教職員	県立専門高校メッセ	朱鷺メッセ展示ホ	教育委	新潟	5	一般見学	前橋市消防団	新潟防災センター「災害対策室での施設説明」「災害対策車両見学」	北陸技術事務所	地整	
新潟	13	現場見学	加茂農林高校	工業高校土木を対象とする現場見学及び意見交換会実施	信濃川下流新光町	施工業	新潟	継続	現場見学	小学校教員	施設見学会	新潟管内	県	新潟	8	一般見学	洪川市北橋地区自治会連合会	新潟防災センター「災害対策室での施設説明」「災害対策車両見学」	北陸技術事務所	地整	
新潟	15	一般見学	銚田市大洋地区民政委員児童委員協議会	新潟防災センター「災害対策室での施設説明」「災害対策車両見学」	北陸技術事務所	地整	新潟	継続	現場見学	小学生、保護者	施設見学会	新潟管内	県	新潟	10	現場見学	不特定	信濃川治水歴史巡り 信濃川下流の治水の歴史や河川管理施設の役割、効果を学ぶ。	信濃川下流域沿	地整	
新潟	継続	現場見学	小学校教員	施設見学会	新潟管内	県	新潟	継続	現場見学	新潟工業高等学校	現場見学(場所未定)		建協	新潟	継続	現場見学	小学生	土木体験学習	新津管内	県	
新潟	継続	現場見学	小学生、保護者	施設見学会	新潟管内	県	新潟	継続	現場見学	新潟工業高等学校	現場見学(場所未定)		建協	新潟	継続	現場見学	新潟工業高等学校	現場見学(場所未定)		建協	
新潟	継続	現場見学	一般	ダムや災害復旧現場等、土木施設現場見学会を実施。		県	新潟	継続	現場見学	一般	ダムや災害復旧現場等、土木施設現場見学会を実施。		県	新潟	継続	現場見学	新潟工業高等学校	現場見学(場所未定)		建協	
新潟	継続	出前講座(講義)	中学生、高校性	土木出張PR	新津管内	県	新潟	継続	出前講座(講)	中学生、高校性	土木出張PR	新津管内	県	新潟	継続	現場見学	一般	ダムや災害復旧現場等、土木施設現場見学会を実施。		県	
新潟	継続	出前講座(講義)	土木出張PR	河川災害・復旧の歴史出前講座	新津管内	県	新潟	継続	出前講座(講)	土木出張PR	河川災害・復旧の歴史出前講座	新津管内	県	新潟	継続	出前講座(講)	中学生、高校性	土木出張PR	新津管内	県	
新潟	未定	講座	高校生	二級土木施工管理技士試験準備講習会	学校	建協								新潟	継続	出前講座(講)	土木出張PR	河川災害・復旧の歴史出前講座	新津管内	県	
新潟	未定	インターンシップ	高校生	インターンシップ	未定	地整								新潟	未定	現場見学	大学生	新潟駅高架化工事、市野新田ダム建設工事		日建連	
五泉	未定	出前講座(講義)	小学生	土木事業PR	津川管内	県								五泉	未定	現場見学	一般	災害復旧現場等、現場見学を実施。		県	
佐渡	未定	現場見学	高校性	建設産業PR活動	佐渡管内	県															

平成28年度 建設界担い手イベントカレンダー【下越地域・第3四半期】

10月					11月					12月										
地域	日	内容		場所(対象)	実施機関	地域	日	内容		場所(対象)	実施機関	地域	日	内容		場所(対象)	実施機関			
		区分	対象					区分	対象					区分	対象					
岩船	継続	現場見学	高校性、一般	工事現場見学会	村上管内	県	新発田	未定	イベント	一般	土木の日イベントにて、パネル展示・土木関係クイズ等開催。	県	新潟	継続	出前講座(講)	中学生、高校性	土木出張PR	新潟管内	県	
岩船	未定	イベント	一般	地元イベント(しいねっか村上)にて、重機、バトロール車やパネル等を展示。		県	新潟	22	一般見学	鉾田市消防団	新潟防災センター!「災害対策室での施設説明」「災害対策車両見学」	北陸技術事務所	地整	新潟	継続	出前講座(講)	土木出張PR	河川災害・復旧の歴史出前講座	新潟管内	県
新発田	継続	現場見学	一般	奥胎内ダムの見学会を実施、ダムカード配布等。		県	新潟	継続	現場見学	小学生	施設見学会	新潟管内	県	共通	継続	その他	一般	「建設写真コンテスト」の優秀作品を活用し、若年労働者の入職促進のためのイメージアップポスター「私たちの主張」の優秀作品を活用し、若年労働者の入職促進のための作品集を作成し、高等		建協
新発田	未定	現場見学	高校性	融雪施設現場見学会	新発田管内	県	新潟	継続	現場見学	小学生	河川屋外教室	新潟管内	県	共通	継続	その他	一般			建協
新発田	未定	現場見学	新潟県立新発田南高校	体験型現場見学会	新潟県岩船郡関川	地整	新潟	継続	出前講座(講)	中学生、高校性	土木出張PR	新潟管内	県							
新潟	継続	現場見学	小学生	施設見学会	新潟管内	県	新潟	継続	出前講座(講)	土木出張PR	河川災害・復旧の歴史出前講座	新潟管内	県							
新潟	継続	現場見学	小学生	土木体験学習	新潟管内	県	五泉	未定	現場見学	一般	災害復旧現場等、現場見学を実施。		県							
新潟	継続	現場見学	小学生	河川屋外教室	新潟管内	県														
新潟	継続	現場見学	新潟工業高等学校	現場見学(場所未定)		建協														
新潟	継続	現場見学	新潟工業高等学校	現場見学(場所未定)		建協														
新潟	継続	現場見学	一般	ダムや災害復旧現場等、土木施設現場見学会を実施。		県														
新潟	継続	出前講座(講義)	中学生、高校性	土木出張PR	新潟管内	県														
新潟	継続	出前講座(講義)	土木出張PR	河川災害・復旧の歴史出前講座	新潟管内	県														
新潟	未定	イベント	松浜小学校	アキグミ植栽・津波防災訓練	新潟市北区	地整														
新潟	未定	その他	新潟市立鳥屋野小学校	バリアフリー体験	北陸技術事務所	地整														
五泉	未定	現場見学	一般	災害復旧現場等、現場見学を実施。		県														
佐渡	未定	現場見学	小学生	ダム見学会	佐渡管内	県														

各機関の取り組み事例

- 二級土木施工管理技士試験準備講習会 新潟工業高校で試行実施 P1
(一社)新潟県建設業協会

- “小・中学校出前講座”のご案内 P2
(一社)建設コンサルタンツ協会

- 遠足コース設定お手伝いします! P4
北陸地方整備局

- 大河津分水公園わくわく探検マップ P8
北陸地方整備局 信濃川河川事務所

- 総合学習支援、バリアフリー体験学習、新潟防災センター見学 P10
北陸地方整備局 北陸技術事務所

- 姫川・関川総合水防演習会場にて、糸魚川市内の
小学校4校を対象に防災に関する体験学習を実施しました! P13
北陸地方整備局 高田河川国道事務所

- 産・学・官の三者が協力し、担い手確保の取り組み P19
北陸地方整備局 阿賀川河川事務所

二級土木施工管理技士試験準備講習会 新潟工業高校で試行実施

日程	時間		講義項目	内容
7月26日	9:00	9:50	0:50 開講挨拶/建設業協会	講話(新潟工業高校卒業生)
	9:50	10:00	0:10 休憩	
	10:00	10:10	0:10 ガイダンス	試験概要、教材の活用方法
	10:10	10:20	0:10 テスト実施	土工
	10:20	11:00	0:40 土木一般①	
	11:00	11:10	0:10 休憩	
	11:10	11:20	0:10 テスト実施	コンクリート工
	11:20	12:00	0:40 土木一般②	
	12:00	13:00	1:00 休憩	
	13:00	13:10	0:10 テスト実施	基礎工
	13:10	13:50	0:40 土木一般③	
	13:50	14:00	0:10 休憩	
	14:00	14:10	0:10 テスト実施	測量・契約約款・設計図書
	14:10	14:50	0:40 共通工学	

5:50

日程	時間		講義項目	内容
7月27日	9:00	9:10	0:10 テスト実施	労働基準法～河川法
	9:10	9:50	0:40 法規①	
	9:50	10:00	0:10 休憩	
	10:00	10:10	0:10 テスト実施	建築基準法～公害関連法令
	10:10	10:50	0:40 法規②	
	10:50	11:00	0:10 休憩	
	11:00	11:10	0:10 テスト実施	施工計画
	11:10	11:50	0:40 施工管理①	
	11:50	12:50	1:00 休憩	
	12:50	13:00	0:10 テスト実施	工程管理・安全管理1
	13:00	13:40	0:40 施工管理②	
	13:40	13:50	0:10 休憩	
	13:50	14:00	0:10 テスト実施	安全管理2、品質管理、建設機械
	14:00	14:40	0:40 施工管理③	

5:40

日程	時間		講義項目	内容
7月28日	9:00	9:10	0:10 テスト実施	鋼構造物、河川、砂防、道路
	9:10	9:45	0:35 専門土木	
	9:45	9:50	0:05 総括	受験に対しての諸注意
	9:50	10:00	0:10 休憩	
	10:00	11:30	1:30 学科模擬試験	学科模擬試験
	11:30	12:00	0:30 採点・解答配布	
	12:00	13:00	1:00 休憩	
	13:00	15:00	2:00 学科模擬試験等総括	テスト見直し、問題集実施等

6:00

“小・中学校出前講座”のご案内

建設コンサルタンツ協会北陸支部では、社会貢献活動の一環として小・中学生を対象とした出前講座を行っています。これは、社会資本整備について知ってもらうとともに、建設コンサルタントという仕事を理解してもらうことを目的としています。

具体的には、学校の单元と連携し、さらには、学校のニーズを踏まえながら内容を企画いたしますので、是非ご利用下さいますよう、お願いいたします。



■対象者■

小学校 4～6年生

中学校 1・2年生



■講師■

建設コンサルタンツ協会北陸支部 会員

■費用■

全て当協会に対応する予定 (講師料・教材等)

■出前講座の内容 (例) ■

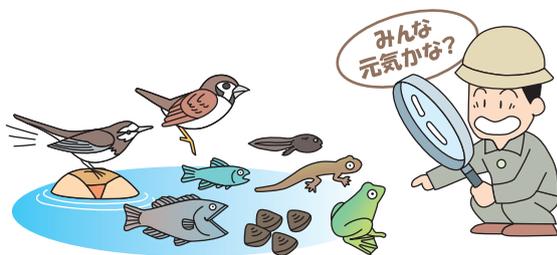
- 建設コンサルタントの**仕事紹介**
- 私たちの生活と**環境問題**について
- 暮らしの中の**地球温暖化**
- トキが繁殖**できる環境とは？
生態系保全と生物多様性について
- これからの**まちづくりと暮らし**
- にいがたの**公共交通**
- いざという時 ～**防災技術**と私たち～
- にいがたの**景観・自然環境** など

*開催規模、時期・内容など柔軟な対応を検討しますので、遠慮なくご相談ください。

一般社団法人 建設コンサルタンツ協会 北陸支部

小・中学生のための出前講座の実績

開催日	開催地区	講演テーマ
第1回 (H16.10.13)	新潟(新潟市立木戸中学校)	「世界は人でつながっている」
第2回 (H17.12.05)	石川(金沢市立森本中学校)	「金沢の偉人土木技術者 八田與一」
第3回 (H19.02.22)	富山(南砺市立城端中学校)	「建設コンサルタンツって知ってる?」
第4回 (H19.06.13)	新潟(新潟市立上山中学校)	「まちづくり コンパクトシティー」
第5回 (H19.10.02)	新潟(新潟市立上山中学校)	「にいがたの都市交通」
第6回 (H19.11.08)	石川(金沢市立犀生中学校)	「金沢の土木遺産 辰巳用水」
第7回 (H20. 6.09)	新潟(新潟市立上山中学校)	「これからのまちづくりに求められる視点」
第8回 (H20.10.01)	新潟(新潟市立上山中学校)	「交通・防災・福祉」 「公園・自然環境」
第9回 (H22.1.13)	金沢(金沢市立小將町中学校)	『金沢のまちのなりたち「惣構と用水の歴史と再生」』
第10回 (H23.11.18)	新潟(新潟市立大形小学校)	「身近なところから『環境』について考えてみよう」
第11回 (H24.11.26)	新潟(新潟市立大形小学校)	「身近なところから『環境』について考えてみよう」
第12回 (H24.12.11)	新潟(新潟市立丸山小学校)	「いつも利用している道路を例に、みちの仕組みを紹介」
第13回 (H25.6.24)	新潟(新潟市立大形小学校)	「身近なところから『環境』について考えてみよう」
第14回 (H26.9.19)	新潟(新潟市立大形小学校)	「身近なところから『環境』について考えてみよう」



■問い合わせ先■

(一社) 建設コンサルタンツ協会 北陸支部事務局

〒950-0965 新潟市中央区新光町6-1 興和ビル7F

TEL: 025-282-3370 FAX: 025-282-3371



教えて！
ケンコンさん
建設コンサルタンの
仕事と魅力



遠足コース(新潟版)設定お手伝いします!

未定稿



信濃川やすらぎ堤

堤防上は車両も通らず安全で、緩傾斜なので休憩場所にも困りません。
なぜ、このような堤防が新潟にあるか？職員が現場で説明します！



国道7号 萬代橋

やすらぎ堤上はお弁当を広げるにも最適です。
近傍の重要文化財「萬代橋」と新潟市の発展について、職員が現場で説明します！



北陸地方整備局 災害対策室

事前に日程調整いただければ、局舎内見学可能(防災業務や各種事業の説明あり)です。
※災害対策室など
大型バス乗降車可能

問い合わせ先
北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会
北陸地方整備局 企画部企画課
担当：渡邊、織田
tel 025-280-8880(代表)

出発地or到着地

遠足コース(湯沢砂防版)設定お手伝いします！

未定稿



東川砂防えん堤

県道を守るため震災後いち早く完成したブロック積みみの砂防施設です。現場で説明します！



槽木地区斜面崩壊



槽木砂防えん堤・流路工

大きな斜面崩壊で牛舎が川に倒壊した槽木地域。牛舎下で土砂に埋まった300m区間に整備した砂防施設現場で説明します！



木籠集落水没家屋



東竹沢砂防えん堤群

木籠集落では地震による土砂崩れで川がせき止められ、住宅が水没しました。現在も河道内に水没した家屋が残っており震災当時の様子を見学できます。この土砂崩れで堆積した土砂を押しさえ込む流域最大の砂防施設です。現場で説明します！



出発地 (おらたる)

到着地

甚大な被害を被ってなお、「帰ろう古志へ」のスローガンのもと、地域一丸となって復旧・復興へと歩み続けた様子をこの「やまこし復興交流館 おらたる」で地形模型シアターや写真などで紹介しています

問い合わせ先
北陸建設界の担い手確保
・育成推進協議会
北陸地方整備局 企画部企画課
担当：渡邊、織田
tel 025-280-8880 (代表)

遠足コース(湯沢砂防版)設定お手伝いします!

未定稿



大源太川第1号砂防堰堤は、昭和14年に完成した日本最初のアーチ式砂防堰堤です。(登録有形文化財)
この砂防堰堤は、完成後76年が経過し、堤体の損傷が著しいため、大規模な補強対策を実施しています。
現場で職員が説明しています。



大源太川第1号砂防堰堤



出発地
(湯沢カルデラセンター)

到着地

問い合わせ先
北陸建設界の担い手確保
・育成推進協議会
北陸地方整備局 企画部企画課
担当：渡邊、織田
tel 025-280-8880(代表)

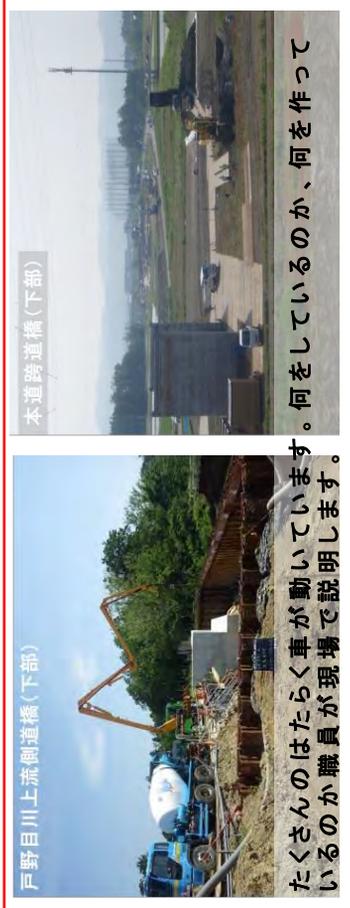


大源太川流路工・魚野川流路工の整備により、地域の土砂災害に対する安全度が向上し、安全に利用できる空間が増え、国内有数の観光地としての施設整備が進みました。
整備状況、魚道のはなしなど職員が現場で説明します!



未定稿

遠足コース(上越版)設定お手伝いします!



たくさんのはたらき車が動いています。何をしていますのか、何を作っているのか職員が現場で説明します。



コンクリートの塊が田園風景の中に突如、出現します。これは何なのか職員が説明します。

上越除雪ステーション



様々な形状の除雪車両が集合しています。それぞれの役割を優しく丁寧に説明します。

上越防災支援センター



災害発生時に緊急出動する特殊車両等が集合しています。それぞれの役割を優しく丁寧に説明します。

問い合わせ先
 北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会
 北陸地方整備局 企画部企画課
 担当：渡邊、織田
 tel 025-280-8880(代表)

水辺探検のヨヨロエ

探検の前に



- ① 天気や川の状況をチェック。
- ② パンフレットや本で川情報を事前に調べておくことに楽しく!
- ③ ライフジャケットも用意。貸し出してくれる機関もあります。

水辺に着いたら



- ① 川に関する看板をチェック。
- ② パンフレットや本で川情報を事前に調べておくことに楽しく!
- ③ ライフジャケットも用意。貸し出してくれる機関もあります。

遊んでいるとき



- ① 水が濁るなど増水の予兆に注意!
- ② パトロールや警察・消防などの指示に従いましょう。
- ③ 川や空に変化があればすぐに避難。安全を確認してからでも遊べます!

水に入る



- ▶ ライフジャケット
- ▶ 濡れてもよい服装
- ▶ 脱げない靴

水辺で遊び



- ▶ 帽子
- ▶ 動きやすい服装
- ▶ 濡れてもいい歩きやすい靴



体験水路は水量をコントロールできるので、安全に楽しめます。

大河津分水と生き物のカカワリ

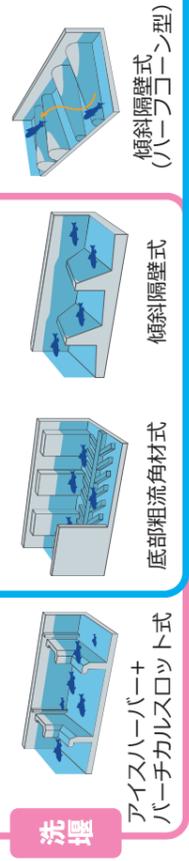
川の分かれ道

川が分かれたり合流したりし魚のイサとなる生物が豊富です。また堰の上下流をつなぐ魚道があり多くの魚が集まります。



たくさんの魚道

洗堰と可動堰には4種類、合計12本の魚道があり、様々な魚などが上りやすいように工夫しています。



流れの速い魚道。サケなどカカの強い魚

中間的な速さ。サケ、フナなど

流れの遅い魚道。ヨシノボリ類など

観察できる主な魚

5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	備考
アユ	オイカワ	オイカワ	サケ	サケ	サケ	サケ	回遊魚
フナ・コイ	フナ・コイ	フナ・コイ	フナ・コイ	フナ・コイ	フナ・コイ	ウグイ	中流域の代表種
ウグイ	ウグイ	ウグイ	ウグイ	ウグイ	ウグイ	カフヤツメ	中流域の代表種
キキ	中流域の代表種						

大河津分水生き物クイズ!



大河津分水公園

わくわく探検マップ

季節によいいるる景色や生き物が見られる大河津分水。マップを持って探検してみよう!

春 3000本の桜が迎えてくれます!

夏 体験水路で川遊び!

秋 魚道でサケを観察!

冬 10000羽の渡り鳥に出会えます!



大河津分水には生き物や草花がたくさん!裏面のマップで紹介しているの、文化財の洗堰や大河津出陣所展望台と合わせて探検してみよう!

大河津分水の洗堰と可動堰には魚道が設けられています。全部で何本の魚道があるでしょうか?「大河津分水と生き物のカカワリ」を読んでみてね!

大河津資料館のご案内



探索の出発地点。どこに行こうかな、何を探そうかな、と迷ったら大河津資料館へ。いろいろ学んでから探検すると「なるほど!」がふえるよ!

- 入館料 無料
- 開館時間 午前9時~午後4時
- 休館日 毎週月曜日
- 12月29日~1月3日 (月曜日が休日のときは開館します。その場合休日明けの平日が休館)

ガイドさんが案内してくれるよ!

アクセスマップ



- ① 可動堰
- ② さくら公園
- ③ 竣工記念碑
- ④ 旧可動堰
- ⑤ さくらトイレ
- ⑥ 治水紀功碑
- ⑦ 旧洗堰
- ⑧ 操作室
- ⑨ 出張所展望台
- ⑩ 魚道観察室
- ⑪ 新洗堰
- ⑫ 開門

大河津分水公園周辺でよく見られる生き物

大河津出張所

石碑の広場
大河津分水に桜が植えられたワケが明らかに!?

セミのいちよう
いちようの樹にはセミがいっぱい!

洗堰くぐり
ゲートの下を通ると洗堰の迫力が分かるよ!

森の東屋
多目的広場を一望できます

水の東屋
水辺遊びの基地

風の東屋
一番大きな休憩所

洗い場水道
水遊びの後は手足をきれいに!

ワンド
立入禁止! 魚たちの休憩所です。

体験水路
中に入っただけで皆さんの生き物と触れ合おう!

ザリガニ川原
ザリガニやオイカワ、フナなどの魚がたくさんいるよ!

西川
ここから約45km流れて再び信濃川に合流します

ジグザグ水道
車いすやベビーカーでも安心のスロープです

多目的広場
キャッチボール! お弁当! いっぱい遊ぼう!

水辺の窓
窓越しに魚や昆虫を観察

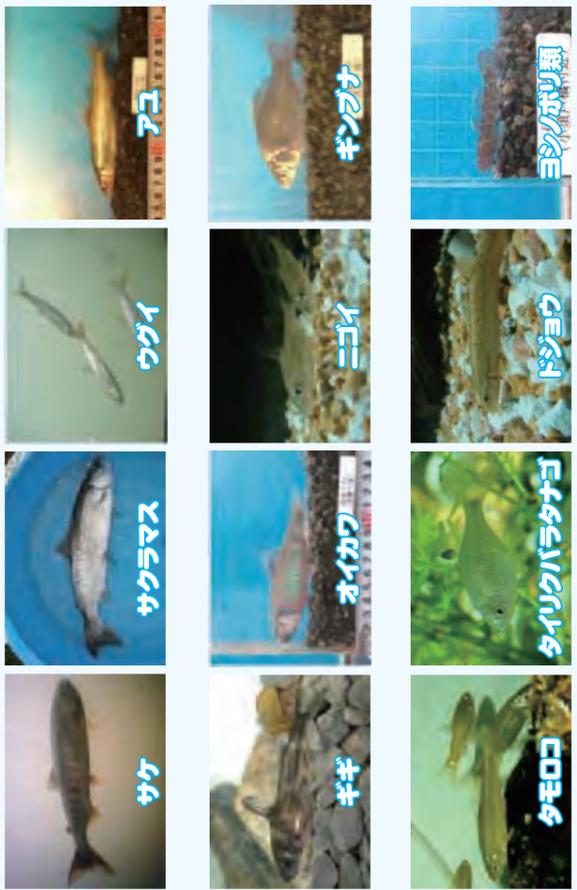
旧洗堰
信濃川の水量をコントロールするために1922年に完成しました。今はその役目を終えて文化財になっています

せせらぎ水路
こちらは深いので立入禁止だよ!

眺めが いいなあ!

魚

- ・サケ
- ・サクラマス
- ・ウグイ
- ・アユ
- ・ギギ
- ・オイカワ
- ・ニゴイ
- ・キンブナ
- ・タモロコ
- ・タイリクバラタナゴ
- ・ドジョウ
- ・ヨシノボリ類
- ・カワヤツメ
- ・モツコ



鳥

- ・オオヨシキリ
- ・ダイサギ
- ・コサギ
- ・コイスギ
- ・アオサギ
- ・セグロセキレイ
- ・カワウ
- ・トビ
- ・ノスリ
- ・マガモ
- ・オナガガモ
- ・マガン
- ・ハクチョウ
- ・ホシハジロ
- ・トモエガモ
- ・オジロワシ



虫など

- ・ヌカエビ
- ・アメリカザリガニ
- ・モクズガニ
- ・クサガメ
- ・ニホンアマガエル
- ・ウシガエル
- ・コガムシ
- ・カワトンボの仲間
- ・アブラゼミ
- ・ベニシジミ
- ・イトトンボ
- ・ハクロンボ



草花

- ・ツククサ
- ・ヒルガオ
- ・セリ
- ・ウキヤガラ
- ・クサネム
- ・シロツメクサ
- ・タコノアシ
- ・ミコシガヤ
- ・モモイロ
- ・シロツメクサ
- ・イヌコマ
- ・ハッカ
- ・シロネ
- ・ヒメガマ

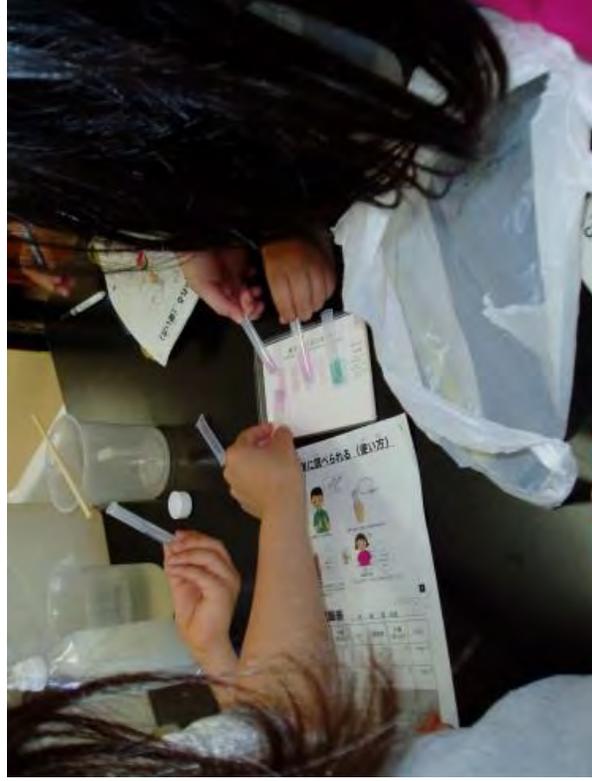


◆ 総合学習支援

- ほくぎひろば(水質学習)
 - 小学校等から申し込みを受けて、水質基礎知識の説明や簡単な水質試験を体験
 - 北技構内での受け入れの他、出前講座も実施

【出前講座の実績】

平成27年度	新潟市立鳥屋野小学校4年生	133名 (H27.5.20)
	新潟市立結小学校4年生	121名 (H27.9.29)
平成28年度	新潟市立鳥屋野小学校4年生	137名 (H28.5.16、18)



出前講座
(COD H28.5.16)



出前講座
(透視度 H28.5.18)

※2日間で5クラスに実施

◆ バリアフリー体験学習(ほくぎひろば)

- 現在の取り組み
 - バリアのない町づくりの大切さを学ぶバリアフリー体験学習(車いす・視覚障害・高齢者体験、それぞれの介助体験)を支援。
 - 平成28年度は地元小学校1校から体験申込み(10月)あり。
 - 平成27年度は地元小学校2校227名が体験。テレビ・新聞でも報道されている。
(ほか、災害対応のため1校は体験予定を中止)
 - 年度当初には、事務系も含めた全職員が説明できるよう所内講習会を開催し、広報の一翼を担ってもらうべく取り組んでいるところ。
- 今後の展開
 - 常連校には引き続き体験していただけるように案内。
 - 新規についても随時受付。

平成27年度 体験学習の様子



車いす介助体験



視覚障害者介助体験



高齢者介助体験

◆新潟防災センター見学

■現在の取り組み

- 災害対策室で「北陸地方整備局の防災対応」を説明
- 北技構内の災害対策機械を見学
- 新規見学希望者について随時受付中

【実績】

平成27年度	17団体	345名
平成28年度	2団体	65名 (H28.6.9現在)



「北陸地方整備局の防災対応」の説明



災害対策機械の見学

H28.6.9 ごせん女性学級(五泉市生涯学習) 52名



姫川・関川総合水防演習会場にて、糸魚川市内の小学校4校を対象に防災に関する体験学習を実施しました！

【概要】

去る5月21日（土）に平成28年度 姫川・関川総合水防演習が開催されました。この演習のテーマは「忘れない7.11災害～あの経験を未来のために～」です。そこで、演習会場にて、未来を担う小学生の皆さんに防災意識を高めてもらうため、防災に関する体験学習を実施しました。

参加した小学校は、糸魚川市立糸魚川小学校（5～6年生）、田沢小学校（5～6年生）、大野小学校（1～6年生）、根知小学校（1～6年生）の皆さん約330人です。当日は、6グループに分かれて体験学習を実施しました。

【内容】

体験装置を使って、豪雨、浸水、地震が発生した状況を体験していただきました。また、上越教育大学大学院山縣教授による出前講座「知ってる？こわい姫川、やさしい姫川」を受講していただきました。そのほか、土のう作り体験（根知小学校のみ）、「7.11災害」当時の写真や動画、災害時に活躍する車両などを見学していただきました。



豪雨体験の様子



上越教育大学大学院
山縣教授による出前講
座の様子



車両展示の様子

1 豪雨体験



降雨体験装置で、平成7年に発生した「7.11水害」と同規模(52mm/h)の豪雨を体験します。

2



流速体験

流速体験装置で、道路が浸水した場合の歩行(膝下の水深、流速1m/s、2m/s)を体験します。

3 地震体験

地震体験装置で、震度4~5の揺れを体験します。



平成28年度

忘れない「7.11災害」あの経験を未来のために / **姫川・関川**

総合水防演習 体験学習メニュー



防災について学ぼう!

4



出前講座



上越教育大学大学院山縣先生から「姫川のこわい場面(洪水など)と姫川のやさしい場面(めぐみなど)」について学びます。

5

災害対策車両展示

国土交通省や警察などの災害時に活躍する車両を見学します。



7 土のう作り体験



洪水の時、川の堤防に積んで水があふれないようにするための「土のう」の作り方を体験します。

6

パネル展示・ビデオ放映



平成7年に発生した「7.11水害」当時の様子や洪水の仕組みなどをパネルやビデオから学びます。

糸魚川市立糸魚川小学校

クラス・人数 5年1組：29名、5年2組：30名、5年3組：30名
6年1組：35名、6年2組：34名

計158名

● 実施風景



開会式の様子

6年生の生徒2名が、体験学習で学びたいことについて発表しました。



豪雨体験の様子

降雨体験装置を使って「7.11災害」と同規模（52mm/h）の豪雨に加え、100mm/h以上の豪雨を体験しました。



流速体験の様子

流速体験装置を使って、道路が冠水した時の歩行の大変さ（流速1m/s、2m/s）を体験しました。



地震体験の様子

地震体験装置を使って震度5の揺れを体験しました。



出前講座の様子①

上越教育大学大学院山縣教授より、姫川のこわいところ（洪水など）ややさしいところ（自然など）を学びました。



出前講座の様子②

姫川周辺の地形について知るため、3Dメガネを使って姫川周辺の地形図を見ました。



車両展示の様子

災害時に活躍する国土交通省や自衛隊などの車両を見学しました。



パネル展示・ビデオ放映の様子

「7.11災害」当時の状況などのパネルやビデオ、水防演習のライブ映像を見ました。



閉会式の様子

6年生の生徒2名が、体験学習のレポートを発表しました。

糸魚川市立田沢小学校

クラス・人数 5年1組：31名
6年1組：24名、6年2組：24名 計79名

● 実施風景



豪雨体験の様子

降雨体験装置を使って「7.11災害」と同規模（52mm/h）の豪雨に加え、100mm/h以上の豪雨を体験しました。



流速体験の様子

流速体験装置を使って、道路が冠水した時の歩行の大変さ（流速1m/s、2m/s）を体験しました。



地震体験の様子①

地震体験装置を使って震度5の揺れを体験しました。



地震体験の様子②

生徒たちの後に、先生も体験しました。



出前講座の様子

上越教育大学大学院山縣教授より、姫川のこわいところ（洪水など）ややさしいところ（自然など）を学びました。



車両展示の様子①

災害時に活躍する国土交通省や自衛隊などの車両を見学しました。



車両展示の様子②

水害時の救助に使用するゴムボートを体験する生徒たちもいました。



パネル展示・ビデオ放映の様子

「7.11災害」当時の状況などのパネルやビデオ、水防演習のライブ映像を見ました。



土のう作り体験の様子

空き時間に土のう作りを体験しました。土のうとは、布袋に土砂を詰めたものです。

糸魚川市立大野小学校

クラス・人数 1～6年生：計65名

● 実施風景



豪雨体験の様子

降雨体験装置を使って「7.11災害」と同規模（52mm/h）の豪雨に加え、100mm/h以上の豪雨を体験しました。



流速体験の様子

流速体験装置を使って、道路が冠水した時の歩行の大変さ（流速1m/s、2m/s）を体験しました。



地震体験の様子

地震体験装置を使って震度4の揺れを体験しました。



出前講座の様子①

上越教育大学大学院山縣教授より、姫川のこわいところ（洪水など）ややさしいところ（自然など）を学びました。



出前講座の様子②

出前講座終了後に、山縣教授がラジオインタビューを受け、今回の講座の内容について答えました。



出前講座の様子③

出前講座終了後に、生徒2名がラジオインタビューを受け、今回の講座の感想について答えました。



車両展示の様子①

災害時に活躍する国土交通省や自衛隊などの車両を見学しました。



車両展示の様子②

生徒たちは、特に自衛隊の車両に興味を持っていました。



パネル展示・ビデオ放映の様子

「7.11災害」当時の状況などのパネルやビデオ、水防演習のライブ映像を見ました。

糸魚川市立根知小学校

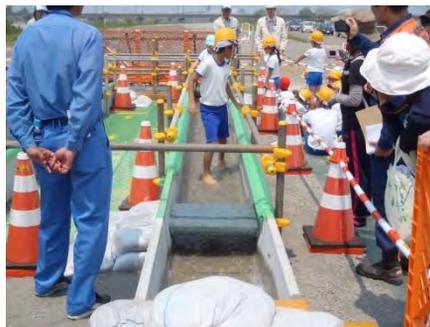
クラス・人数 1～6年生：計30名

● 実施風景



豪雨体験の様子

降雨体験装置を使って「7.11災害」と同規模（52mm/h）の豪雨に加え、100mm/h以上の豪雨を体験しました。



流速体験の様子

流速体験装置を使って、道路が冠水した時の歩行の大変さ（流速1m/s、2m/s）を体験しました。



地震体験の様子①

地震体験装置を使って震度4の揺れを体験しました。



地震体験の様子②

生徒たちの後に、先生も体験しました。



出前講座の様子

上越教育大学大学院山縣教授より、姫川のこわいところ（洪水など）ややさしいところ（自然など）を学びました。



車両展示の様子①

災害時に活躍する国土交通省や自衛隊などの車両を見学しました。



車両展示の様子②

生徒たちは、特に自衛隊の車両に興味を持っていました。



パネル展示・ビデオ放映の様子

「7.11災害」当時の状況などのパネルやビデオ、水防演習のライブ映像を見ました。



土のう作り体験の様子

土のう作りを体験しました。土のうとは、布袋に土砂を詰めたものです。

産・学・官の三者が協力し、担い手確保の取り組み

建設界における担い手確保のため、産・学・官（建設関係団体・学校・国、県）の3者が協力し、下記のとおり会津地域の2校の高校生を対象に建設業が持っているものづくりの誇り、頼もしさ、楽しさについて、理解や知識を高めて頂くことを目的に会津管内の工事現場を見学します。各見学箇所では、現場で働く若手技術者との意見交換も予定しています。

1. 日時

- 福島県立喜多方桐桜高等学校（建設科2年生40名）
平成28年6月1日（水） 9時～15時 ※大雨の場合は6月8日（水）に延期
- 福島県立会津農林高等学校（森林環境科1年生40名）
平成28年6月10日（金）9時～15時 ※大雨の場合は6月17日（金）に延期

2. 参加機関

- ・国土交通省北陸地方整備局 阿賀川河川事務所
- ・国土交通省東北地方整備局 郡山国道事務所
- ・福島県会津若松建設事務所
- ・福島県喜多方建設事務所
- ・一般社団法人福島県建設業協会

3. 見学箇所

別紙のとおり

4. 見学内容

- ・事業概要及び工事概要の説明
- ・各現場において若手技術者との意見交換
- ・現場内の見学 など

5. その他

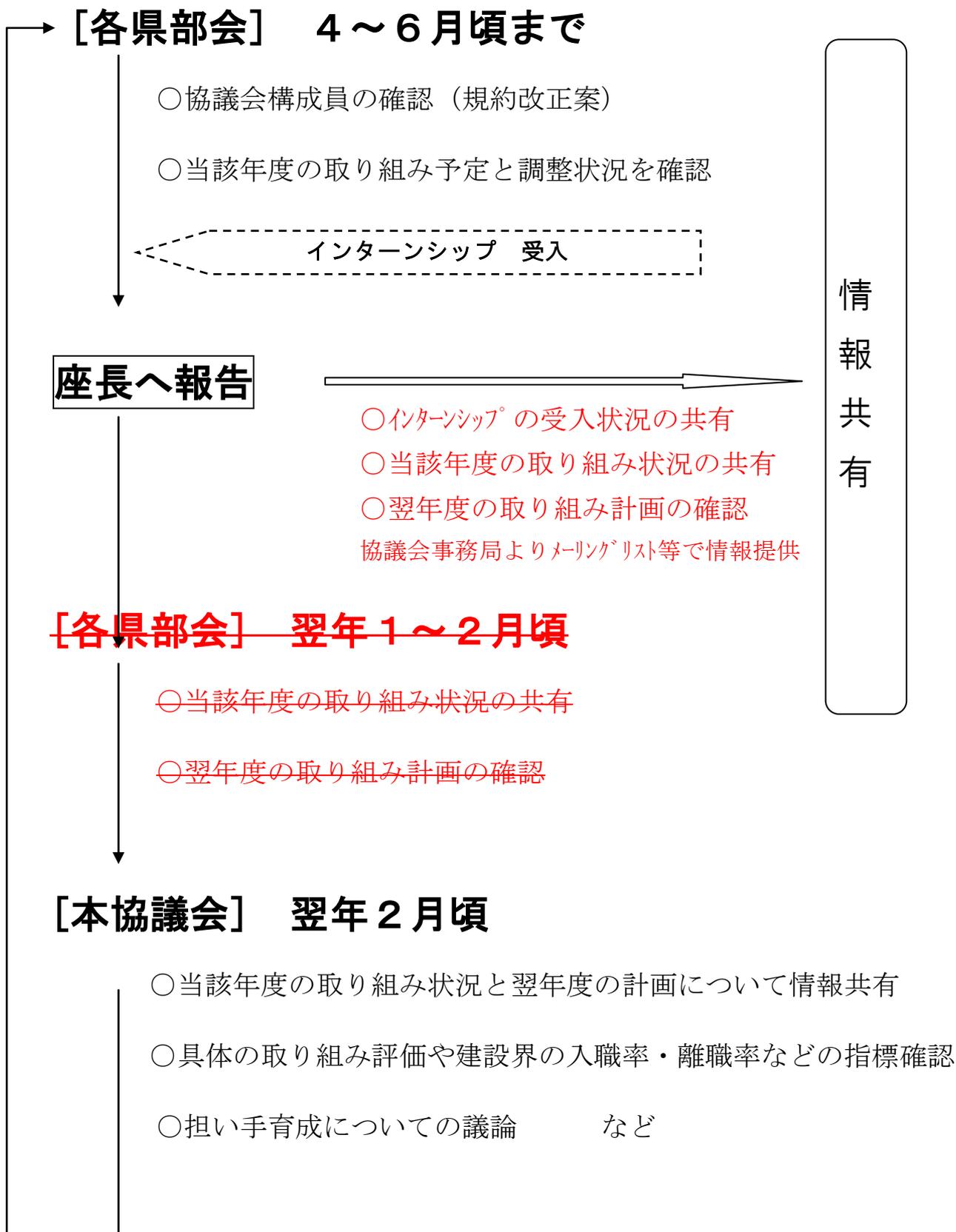
当日大雨が予想され延期する場合は、前日の午後に判断します。

【問い合わせ先】

国土交通省 北陸地方整備局 阿賀川河川事務所
福島県会津若松市表町2-70 電話：0242-26-6441（代）
副所長（技術） 見田 弘幸（携帯：090-3124-3726）

※現地の状況により時間が前後する可能性がありますので、取材される場合は、上記携帯に連絡して頂き、時間の確認をお願いします。
なお、恐れ入りますが、携帯番号は番号通知でおかけください。

協議会の進め方（新潟県部会）（案）



URL: <http://www.hrr.mlit.go.jp>

国土交通省では、建設現場で働く労働者一人一人の生産性を向上させ、魅力ある建設現場を実現するi-Construction(アイ・コンストラクション)の取り組みを進めています。i-Constructionは「ICT技術の全面的な活用」、「規格の標準化」、「施工時期の平準化」等の施策を建設現場に導入することによって、建設現場のプロセス全体の最適化を図り、もって魅力ある建設現場を目指す取り組みです。

北陸地方整備局においても、平成28年2月にi-Construction推進本部を立ち上げ、積極的に取り組みを進めています。本「北陸i-Construction通信」は、この取り組み内容や状況を広く、皆様にお知らせすることにより、より一層の取り組み推進をはかるものです。

最新ニュース

北陸地方整備局では、i-Construction活用土工事の第一弾として、信濃川下流の洪水を安全に流すための山島新田河道掘削工事をICT活用発注者指定型として、平成28年5月11日に入札公告しました。発注者指定型は、UAV等を用いた3次元の起工測量、3次元データの設計とICT建機による施工、UAV等による3次元出来形管理、3次元納品等を実施するよう定めています。また、5月17日には、同地区の河道掘削工事3件をICT活用受注者希望型として入札公告しました。

本号の掲載内容

ICT技術の活用	概要イメージ、新たな基準、説明会の開催等
規格の標準化	特になし
施工時期の平準化	平準化の目的とイメージ

ICT土工における調査・測量、設計、施工、検査のプロセスにおいて、現在の紙図面を前提とした基準類を変更し、3次元データによる15の新基準が平成28年4月より導入されました。調査・測量、設計では、新規2、改訂1、施工では新規4、改訂2、検査では新規2、改訂4の基準類。

また、ICT技術の全面的な活用の推進に向けて、ICT建機の使用を前提にした積算基準を定められました。

<調査・測量、設計>

- [1] UAVを用いた公共測量マニュアル(案)【新規】
- [2] 電子納品要領(工事及び設計)【改訂】
- [3] 3次元設計データ交換標準(同運用ガイドラインを含む)【新規】

<施工>

- [4] ICTの全面的な活用(i-Construction)の推進に関する実施方針【新規】
- [5] 土木工事施工管理基準(案)(出来形管理基準及び規格値)【改訂】
- [6] 土木工事数量算出要領(案)【改訂】
(施工履歴データによる土工の出来高算出要領(案)【新規】を含む)
- [7] 土木工事共通仕様書 施工管理関係書類(帳票:出来形合否判定総括表)【新規】
- [8] 空中写真測量(無人航空機)を用いた出来形管理要領(土工編)(案)【新規】
- [9] レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(土工編)(案)【新規】

<検査>

- [10] 地方整備局土木工事検査技術基準(案)【改訂】
- [11] 既済部分検査技術基準(案)及び同解説【改訂】
- [12] 部分払における出来高取扱方法(案)【改訂】
- [13] 空中写真測量(無人航空機)を用いた出来形管理の監督・検査要領(土工編)(案)【新規】
- [14] レーザースキャナーを用いた出来形管理の監督・検査要領(土工編)(案)【新規】
- [15] 工事成績評定要領の運用について【改訂】

i-Construction特に、ICT土工工事に関する説明会(座学講習会と実地研修会)を開催します。県や地方自治体職員、関連企業等の皆様を対象にしていますので、たくさんの方が参加されるようお知らせします。なお、継続教育認定プログラムです。

「石川会場」平成28年6月24日(金)

講習会 9:30~11:30 金沢河川国道事務所
実地研修13:30~16:00 日本建設機械レンタル協会北陸支部

「新潟会場」平成28年6月29日(水)

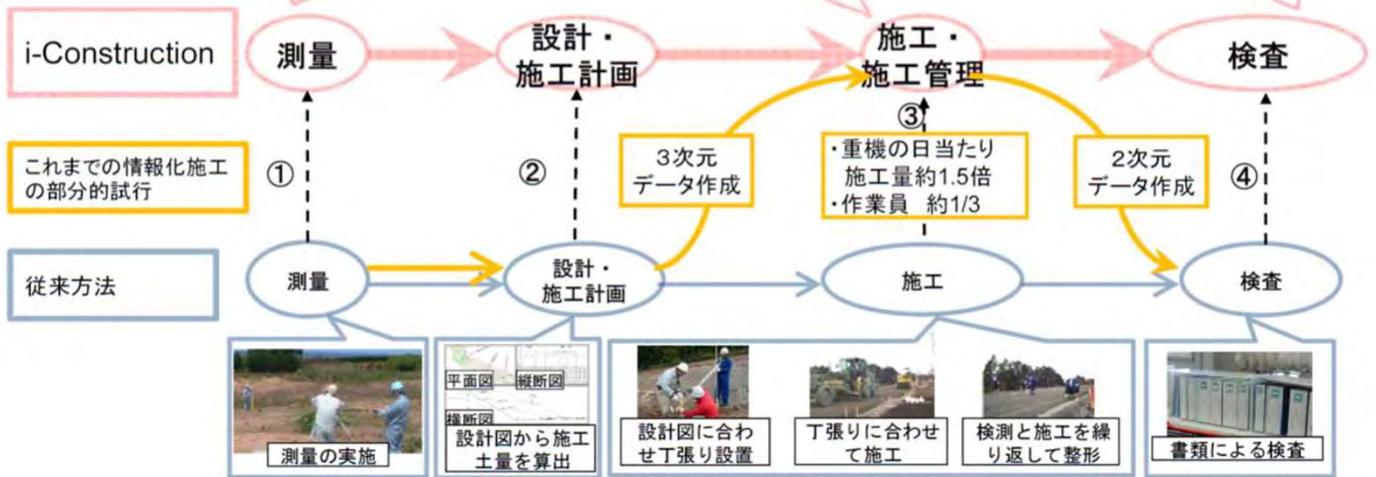
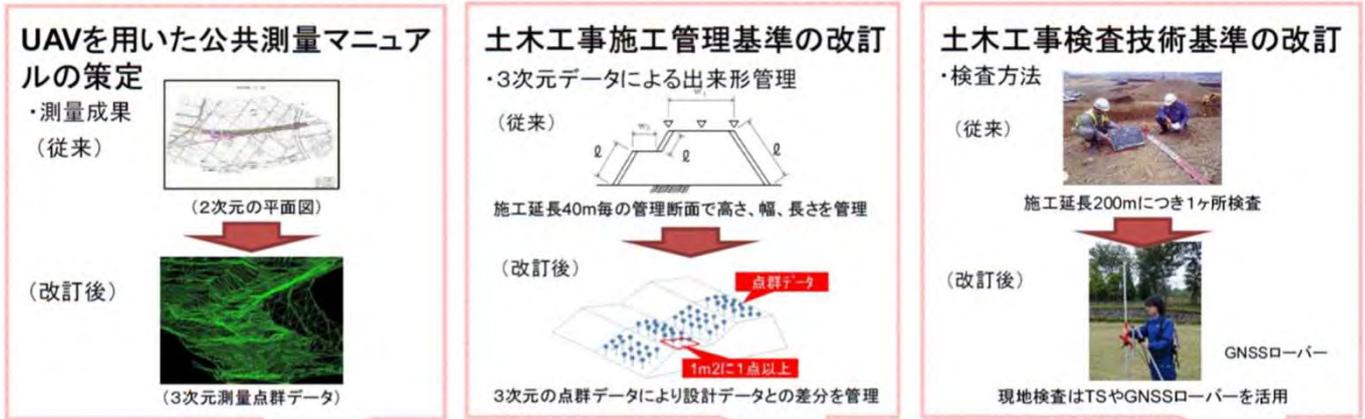
講習会 9:30~11:30 北陸地方整備局
実地研修13:10~17:15 北陸技術事務所

「富山会場」平成28年7月13日(水)

講習会 9:30~11:30 北陸技術事務所富山防災センター
実地研修13:10~17:15 同上

ICT活用土工事

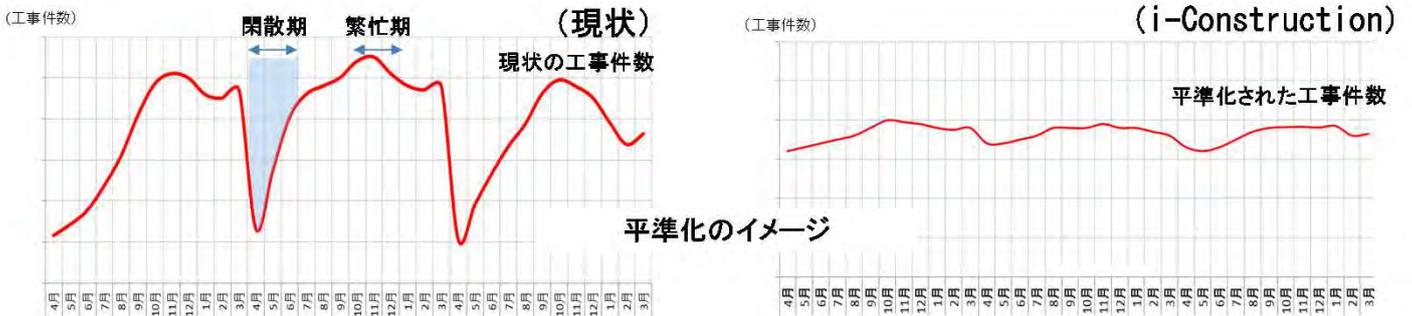
i-Construction (ICT活用土工事) と従来工事の比較イメージ、新たな主な基準は以下のとおり。



施工時期の平準化

出典: ICT導入協議会 資料

平準化とは、2カ年国債の活用等により、4～6月の閑散期、年度末の繁忙期を解消し、資機材・人材の効率的な活用を図ると共に、労働環境の改善を図るもの。



出典: ICT導入協議会 資料

問い合わせ先

i-Construction推進本部 事務局

(問い合わせ先) 北陸地方整備局

地方事業評価管理官(2118)

企画部 技術管理課長(3311)

企画部 技術検査官(3122)

〒950-8801 新潟市中央区美咲町1-1-1 新潟美咲合同庁舎1号館 TEL025-280-8880(代)

URL: <http://www.hrr.mlit.go.jp>



国土交通省では、本年を「生産性革命元年」と位置づけ、「国土交通省生産性革命本部」を設置し、総力を挙げ生産性の向上に向け取り組んでいるところであり、北陸地方整備局においても、今年5月にi-Construction推進本部会議を開催し、3本柱である「ICT技術の全面的な活用」、「規格の標準化」、「施工時期の平準化」の取り組みについて、今年度の取り組み方針を決定する等、積極的に取り組みを進めています。「北陸i-Construction通信」は、この取り組み内容や状況を広く、皆様にお知らせすることにより、より一層の取り組み推進をはかるものです。

最新ニュース

今年3月に契約した工事において、施工者提案によるICT土工の工事が始まりました。地元の高校生を対象に現場見学会を開催し、建設事業の最新技術と魅力を発信しています。(河川の築堤工事現場見学会参加者の声:『すごい、初めて見た』、『女性でも簡単に操作できると知って、今の技術はすごい』、『将来は土木関係の仕事に就きたい』)

本号の掲載内容

ICT技術の活用	現場見学会の実施、現場での活用、UAV(ドローン)、ICT建機
規格の標準化	特になし
施工時期の平準化	特になし

現場見学会の実施

平成28年6月1日(水)、河川の築堤工事現場(阿賀川河川事務所)において、福島県立喜多方桐桜高校建設科の2年生40名を対象にICT技術を活用した施工の現地見学会が開催されました。



実際に操縦席でICT建機の操作を体験する生徒



担当者の説明に耳を傾ける高校2年生

出典: 宮古弱小堤防対策工事現場見学会【阿賀川河川事務所】

現場での活用

ICT土工の起工測量において、ICT技術(UAV)を活用し、効率的に3次元の点群データを取得します。

宮古弱小堤防対策工事(阿賀川河川事務所)の現場からは、『測点でしか確認できなかった2次元の地形が、3次元の立体で把握できるのでわかりやすい。』『UAVの使用により起工測量の日数が、従前は約1週間かかったが1日に短縮できた』等の声があります。

またH27能越道小泉道路その5工事(金沢河川国道事務所)の現場でもUAVを活用しており、『本現場は、急峻な地形が多く、従来の測量工では作業員の墜落、滑落が懸念されましたが、UAV測量で安全な測量を実施できた。』との声がありました。



タブレットにより状況確認しながらUAVを遠隔操作



UAVにより速やかな3次元点群データの取得が可能

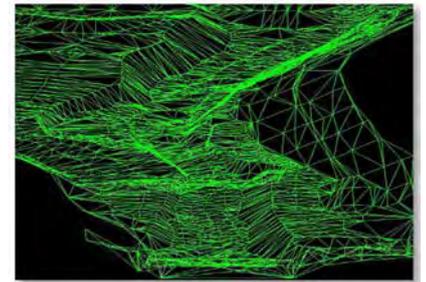
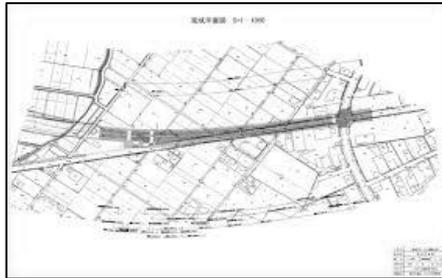
出典: H27・H28能越道中道路その4工事
H27能越道中小泉道路その5工事
【金沢河川国道事務所】

UAV(Unmanned aerial vehicle)とは何だろう?



UAVは飛行中の音がハチが飛ぶ時のような音に似ているところからドローンと呼ばれるようになったといった説があります。

従来の2次元の平面図が、UAVを用いて空中写真を撮影することにより、3次元点群データ(位置情報を持った点の集まり)からなる3次元図面を作成することが出来ます。



国土交通省記者発表「新たに導入する15の基準及び積算基準について(28.3.30)」より

導入効果: 小回りがきくUAVや3次元化の自動ソフトの導入により、短時間で効率的に3次元点群データが作成可能

ICT建機の紹介



モニターで完成形状を確認しながらの施工



平成27年情報化施工実施の事例
出典:阿賀野バイパス17工区改良その14工事【新潟国道事務所】

【MCバックホウ】

GNSSアンテナと基準局から得た刃先の位置情報、施工設計データをもとに、作業機操作のセミオート化を実現したマシンコントロール油圧ショベル。バケットの刃先が設計面に達すると作業機が自動的に停止し、微操作をしなくてもアシスト機能で刃先が設計面に沿って動くため、オペレータは設計面の掘り過ぎを気にせず簡単に掘削作業ができます。



掘り過ぎを防止でき、安定した施工が可能

宮古弱小堤防対策工事【阿賀川河川国道事務所】

◆ i-Construction物知りコーナー(Q&A)

Q :「i-Construction」の「i」の意味は?

A : 今回の取り組み内容からは、意味的に「Innovation」(物事の「新結合」「新機軸」「新しい切り口」「新しい捉え方」「新しい活用法」(を創造する行為)のこと。)に近い言葉ですが、固定したものではありません。「i-Construction」は国総研より商標登録がなされているため、「i」は小文字、「C」は大文字、「-」もセットにした一体の言葉として利用しています。

i-Construction推進本部 事務局

(問い合わせ先) 北陸地方整備局 地方事業評価管理官(2118)
企画部 技術管理課長(3311)
企画部 技術検査官(3122)

〒950-8801 新潟市中央区美咲町1-1-1 新潟美咲合同庁舎1号館 TEL025-280-8880(代)

URL:<http://www.hrr.mlit.go.jp>